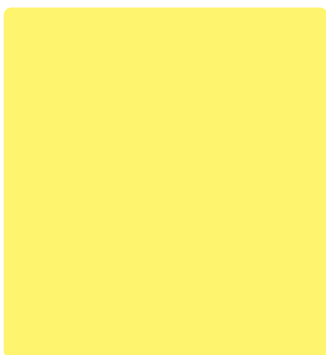


徳島大学の教職員が推薦2026
新入生にすすめる
私のこの一冊



徳島大学附属図書館





この冊子は、新しく徳島大学の学生となったみなさんの充実した学生生活の一助となるよう、教職員がお薦めする本を紹介しています。

ここで紹介した本は、附属図書館にありますので、ぜひ手に取ってみてください。



目 次

推薦教職員名・所属

福井 清 学長特別補佐
福井 清 学長特別補佐

■総合科学部

荒武 達朗 社会総合科学科
荒武 達朗 社会総合科学科
荒武 達朗 社会総合科学科
カイザー メイガン
社会総合科学科
カイザー メイガン
社会総合科学科

佐藤 健二 社会総合科学科
佐藤 充宏 社会総合科学科
堤 和博 社会総合科学科
山内 暁彦 社会総合科学科
依岡 隆児 社会総合科学科
依岡 隆児 社会総合科学科
依岡 隆児 社会総合科学科
渡邊 克典 社会総合科学科
渡邊 克典 社会総合科学科
渡邊 克典 社会総合科学科

■医学部

和泉 唯信 医学科
岡久 稔也 医学科
上番増 喬 医科栄養学科
上番増 喬 医科栄養学科
上番増 喬 医科栄養学科
奥村 仙示 医科栄養学科
酒井 徹 医科栄養学科
竹谷 豊 医科栄養学科
二川 健 医科栄養学科
二川 健 医科栄養学科
二川 健 医科栄養学科
岡久 玲子 保健学科
奥田紀久子 保健学科

■歯学部

白山 靖彦 口腔保健学科

■薬学部

佐藤 陽一 医薬品情報学

推薦図書名

津田梅子 — 科学への道、大学の夢 …………… P 1
津田梅子 — 女子教育を拓く …………… P 1

草の根のファシズム：日本民衆の戦争体験…………… P 2
戦争は女の顔をしていない…………… P 2
雍正帝：中国の独裁君主…………… P 3
Reading Magic: Why Reading Aloud to Our Children Will Change
Their Lives Forever …………… P 3
Where the Sidewalk Ends …………… P 4

ノルウェイの森〈上・下〉…………… P 4
「健康格差社会」を生き抜く…………… P 5
COSMOS 〈上・下〉…………… P 5
2001年宇宙の旅 決定版 …………… P 6
それでも、読書をやめない理由…………… P 6
寺田寅彦随筆集 全5巻…………… P 7
読書からはじまる…………… P 7
ハーモニ…………… P 8
社会は情報化の夢を見る…………… P 8
日常生活における自己呈示…………… P 9

透析を止めた日…………… P 9
フェニックス（不死鳥）王昌の「モノづくり」…………… P 10
しつけ帖 …………… P 10
人生最後のご馳走 …………… P 11
大衆の反逆 …………… P 11
やせる！低GIダイエット …………… P 12
数学者の言葉では …………… P 12
生物と無生物のあいだ …………… P 13
アイデアのつくり方 …………… P 13
生きること学ぶこと …………… P 14
沈まぬ太陽（アフリカ編上・下、御巣鷹山編、会長室編上・下）…………… P 14
人を助けるとはどういうことか 本当の「協力関係」をつくる7つの原則…………… P 15
噛みきれない想い …………… P 15

ルフィの仲間力ー「ONE PIECE」流、周りの人を味方に変える法…………… P 16

Y染色体からみた日本人 …………… P 16

目 次

推薦教職員名・所属

竹内 政樹 分析科学
土屋浩一郎 医薬品機能生化学
中尾 允泰 分子創薬化学

■理工学部

青矢 睦月 理工学科
石田 徹 理工学科
加藤 雅裕 理工学科
日下 一也 理工学科
日下 一也 理工学科
田村 隆雄 理工学科
富田 卓朗 理工学科
ナカイト アントニオ ノリオ
理工学科

真壁 和裕 理工学科
真壁 和裕 理工学科
真壁 和裕 理工学科
三輪 昌史 理工学科
三輪 昌史 理工学科
渡邊 健 理工学科
渡辺公次郎 理工学科
渡辺公次郎 理工学科
渡辺公次郎 理工学科

■生物資源産業学部

田中 保 生物資源産業学科
玉井 伸岳 生物資源産業学科
玉井 伸岳 生物資源産業学科
玉井 伸岳 生物資源産業学科
松木 均 生物資源産業学科
松木 均 生物資源産業学科

■教養教育院

内山 八郎 教養教育院
大村 和人 教養教育院
大村 和人 教養教育院
大村 和人 教養教育院
大藪 進喜 教養教育院
大藪 進喜 教養教育院
齊藤 隆仁 教養教育院

推薦図書名

会社人生に必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ P 17
独学の教室 P 17
有機化学の理論 ～学生の質問に答えるノート P 18
大陸と海洋の起源 P 18
自分のための人生 ― 今日を賢明に生きてますか P 19
深夜特急1 ―香港・マカオー P 19
平賀源内に学ぶイノベーターになる方法 P 20
プレゼンテーションZen第3版 P 20
仕事は楽しいかね? P 21
科学するブッタ 犀の角たち P 21
The New Science of Strong Materials : Or Why You Dont Fall
Through the Floor P 22
君たちに伝えたい3つのこと P 22
自分のアタマで考えよう P 23
料理の四面体 P 23
代替医療のトリック P 24
反社会学講座 P 24
子どもは判ってくれない P 25
コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる P 25
地域を変えるデザイン コミュニティが元気になる30のアイデア P 26
見えがくれる都市 P 26
代表的日本人 P 27
柿の種 P 27
秘帖・源氏物語 翁 - OKINA P 28
理科系の作文技術 P 28
少年H 〈上・下〉 P 29
のぼうの城 〈上・下〉 P 29
菊と刀 P 30
魯迅 ― 「人」「鬼」の葛藤 P 30
人文知1 心と言葉の迷宮 P 31
とびらをあける中国文学―日本文化の展望台 P 31
人物で語る物理入門 〈上・下〉 P 32
宇宙の「果て」になにがあるのか 最新天文学が描く、時間と空間の終わり P 32
99.9%は仮説 P 33

目 次

推薦教職員名・所属

推薦図書名

■共同教育研究施設

チャン ホアンナム

高等教育研究センター

The Culture Map: Decoding How People Think, Lead, and Get

Things Done Across Cultures P 33

チャン ホアンナム

高等教育研究センター

Brief Answers To The Big Questions P 34

武川 恵美 研究支援・産官学連携センター

LEAN IN (リーン・イン) 女性、仕事、リーダーへの意欲 P 34

馬場 良泰 研究支援・産官学連携センター

夢を叶えるために脳はある 「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす P 35

馬場 良泰 研究支援・産官学連携センター

ZERO to ONE 君はゼロから何を生み出せるか P 35

馬場 良泰 研究支援・産官学連携センター

PLURALITY 対立を創造に変える、協働テクノロジーと民主主義の未来 P 36

吉田 雅信 研究支援・産官学連携センター

すぐ役に立つものは すぐ役に立たなくなる P 36

吉田 雅信 研究支援・産官学連携センター

世界秩序が変わるとき 新自由主義からのゲームチェンジ P 37

吉田 雅信 研究支援・産官学連携センター

NEXUS 情報の人類史 (上: 人間のネットワーク、下: AI革命) P 37

■技術支援部

臣永 歩 蔵本技術部門機能解析グループ

なぜ投資のプロはサルに負けるのか? P 38

臣永 歩 蔵本技術部門機能解析グループ

完訳 7つの習慣 人格主義の回復 P 38

臣永 歩 蔵本技術部門機能解析グループ

ジャッカルの日 P 39

■キャンパスライフ健康支援センター

後藤 龍太 健康支援センター総合相談部門

生き心地の良い町ーこの自殺率の低さには理由がある P 39

■大学職員

武知 智子 薬学部機能分子合成薬学

匂いの記憶 知られざる欲望の起爆装置 ヤコブソン器官 P 40

武知 智子 薬学部機能分子合成薬学

エンデの遺言ー根源からお金を問うことー P 40

石川実可子 研究支援・産官学連携センター

話すチカラ P 41

松尾 淳 研究・産学企画課

科学の健全な発展のために【第2版】ー誠実な科学者の心得ー P 41

松尾 淳 研究・産学企画課

少女たちの戦争 P 42

松尾 淳 研究・産学企画課

タテ社会と現代日本 P 42

佐々木奈三江 情報企画課

ファンタジア P 43

佐々木奈三江 情報企画課

ふむふむ: おしえて、お仕事! P 43

近藤 薫 図書情報課

われ去りしとも美は朽ちず P 44

分野別索引 P 45-48

徳島大学附属図書館によるこそ P 49-50

新しい本の世界へようこそ P 51-53

大学生になったら読書マラソンを始めよう! P 54

●推薦者名 福井 清

●所属 学長特別補佐

津田梅子 —科学への道、大学の夢

著者名 古川安
出版社 東京大学出版会
価 格 2,800円+税 分類：伝記



津田梅子 —女子教育を拓く

著者名 高橋裕子
出版社 岩波書店(岩波ジュニア新書)
価 格 880円+税 分類：伝記



本年の新入生を迎えるに際して、2024年の新紙幣（五千円）に登場する津田梅子についての著作をぜひ紹介したい。

明治4年岩倉使節団とともに六歳でアメリカに渡った少女「津田梅子」は11年の歳月を経て帰国する。官費留学生としての務めを果たすべく、華族女学校の英語教師に着任して、教育者としての活動を開始している。

私たちの知る津田梅子は、津田塾大学の創始者であり、我が国の英語教育と女子教育の最高学府の発展に大きな貢献と功績を残した大学人である。しかし、彼女が日本へ帰国後7年を経ずして米国に再留学を志願し、研究大学として「女ジョーンズ・ホプキンス」とも称されるプリンマー大学にて、生物学を専攻し生物学者の道を行っていたことを知る人は数少ない。

ウッズホール海洋生物学研究所のサマープログラムに参加していた津田梅子はモーガン (Morgan) 博士との知己を得て、彼の研究人生における最初の共同研究者となっている。“The Orientation of the Frog’s Egg”と題して発表された博士との共著論文は、日本人女性として自然科学の研究論文を海外の学術誌に発表した嚆矢となるものである。モーガンは遺伝子が染色体上に存在することを証明し、1933年ノーベル医学・生理学賞を受賞、遺伝子座間の距離を示す単位としてのcM（センチモルガン）にその名が刻まれている。

英語で世界レベルの学問を究めること、そしてその成果を世界に発信することの大切さを、我が国の女性に説き続けた津田梅子の高き志と生涯をぜひ皆さんに知っていただきたい。明治33年たった十人の学生を迎えて「女子英学塾」を設立した津田梅子は教育界における偉大なアントレプレナーでもあったと心から敬服している。

●推薦者名 荒武 達朗

●所属 総合科学部 社会総合科学科

草の根のファシズム：日本民衆の戦争体験

著者名 吉見義明

出版社 東京大学出版会

価格 2,400円＋税

分類：日本史



戦時下で普通の人びとは何を考えていたのか——皆さんも疑問を感じたことがあるかもしれません。しかし直接話を聞きたくても、戦後80年も過ぎて当時若者だった人も今や90歳以上です。その方々の口から語られる機会は、今後益々減っていくに違いありません。

本書の出版された年は1987年、戦争のことは忘れられつつありました。一方で当時を知る人はまだ健在で、そして元気な内に戦争の記憶を後世に伝えたい、という切実な思いが高まっていました。またドイツのヴァイツゼッカー大統領が欧州の戦いの終わった40年の節目の演説で「過去に目を閉ざす者は現在に対しても盲目となる」と述べたことも、戦争を回顧する動きを高めることとなりました。

この気運の下で、戦争に関する書籍が数多く刊行されるようになりました。本書もまたその中の一つです。回想録、手紙、日記、証言記録を元に当時の民衆の目に映じた戦争の実像を復元しようとしています。戦争中の民衆史研究にとって古典的著作であり、優れた入門書と推薦できます。もちろんその後の研究によって記述が少々古くなった箇所もありますが、それは注意深く読めば分かるでしょう。ただしこの頃に出版された書籍は、記述の具体性と迫真性でその後に出た本よりも優れています。

戦争とは何か——この疑問は人類の歴史が続く限りこれから何度も問いかげられると思います。本書がそれを考える一助となることを希望します。

●推薦者名 荒武 達朗

●所属 総合科学部 社会総合科学科

戦争は女の顔をしていない

著者名 スヴェトラーナ・アレクシエーヴィチ（訳：三浦みどり）

出版社 岩波書店

価格 1,400円＋税

分類：ロシア・ソヴィエト文学



この本は刊行までいくつもの出版社に断られ続けました。戦争は愛国心に燃えた人民が国土防衛の為に敵と戦う勇敢な物語でなければならない。しかし本書の描く戦争像はそうではありませんでした。

この本の舞台——第二次世界大戦中のソビエト連邦、そして今、戦場になっているところ——では男性だけではなく女性もまた国土を侵略するドイツ軍と戦う為に戦場に赴きました。このような従軍女性の数は100万人を超え、といます。戦争はソ連の勝利に終わりますが、しかしその後人びとは従軍した女性たちのことを忘却してしまいました。「女が戦場へ？ おかしいじゃないか？ そこで何をしていたんだか」とばかりに。そして戦勝は特に男性を中心とした英雄たちの無機質な愛国の物語になったのです。

著者は500名を超える従軍女性にインタビューを行い、その言葉を拾い集めていきます。「いやいや、とんでもない戦争だったよ……私たち女の目で見ると、これ以上ないってほど恐ろしいものだった。だから私たちには訳からないことになっているんだね……」元従軍女性たちは語り始めます。ここに記されている

彼女たち一人一人の語りは、私たちの想像をはるかに超えています。勇ましい話、微笑ましい話、感動的な話、悲しい話、そして身の毛もよだつような恐ろしい話。戦争について考えたい人だけではなく、ジェンダーに関心のある人にもお勧めします。

近年日本でコミック化された評判になったことも附言します。これも秀逸の出来です。

●推薦者名 荒武 達朗

●所属 総合科学部 社会総合科学科

雍正帝：中国の独裁君主

著者名 宮崎市定

出版社 中央公論社

価格 700円＋税

分類：アジア史・東洋史



あなたがサークルの部長、職場のリーダーだとします。メンバーは内心何を考えているか分からない奴らばかりです。あなたは彼らをまとめ上げ、成果を出さねばなりません。このような悩みは古今東西尽きないもので、現在でも「リーダーの心得」の類いのビジネス書は本屋に並んでいます。この課題は広大な中国を統治する中華帝国も例外ではありません。歴史教科書を開けば帝国が臣下の反乱、皇帝姻戚の横暴に苦しんだ例を見出すことができます。トップの皇帝はどうあるべきか。帝国の出した結論は「皇帝の独裁政治」というものでした。

「皇帝の独裁!？」——よいイメージはありません。この政治の様式は本書の主人公、清朝の雍正帝の時代に最高潮に達しました。具体的な統治は皆さんに読み解いてもらうとして、彼の生活は予想に反してとても禁欲的なものでした。毎日早朝から深夜まで帝国各地から送られてくる文書を決裁し続けます（独裁者ですからね）。今の言葉で言えば“マネジメント”に尽力し、清朝の繁栄を確立しました。そして彼の治世は13年で幕を閉じます。たぶん過労死だったのかもしれませんが。私は彼にちょっと同情します。

本書の初版は1950年と些か古いのですが、現在の我々が政治やリーダーのあり方を考える上でも示唆的です。著者の宮崎市定は中国史の大家として知られ、専門的な著作のみならず読みやすい本を数多く執筆しています。本書を手がかりに“宮崎史学”に触れてみてはいかがでしょうか。

●推薦者名 カイザー メイガン
(Meagan Rence Kaiser)

●所属 総合科学部 社会総合科学科

Reading Magic: Why Reading Aloud to Our Children Will Change Their Lives Forever

著者名 Mem Fox

出版社 Mariner Books

価格 1,600円＋税 ※洋書のため価格は変動します

分類：教育

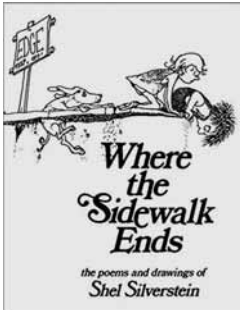


This book can show you how to bring the love of reading to children now, or someday when you're a parent. It may also give you some insight into how you became a reader. If you enjoy language and children, this is a great book to read before you graduate and go out into the world. Mem Fox is a literacy expert and children's book author and someone whose ideas are worth getting to know. It's a great first introduction to literacy research, written in an accessible way.

●推薦者名 カイザー メイガン (Meagan Renee Kaiser) ●所属 総合科学部 社会総合科学科

Where the Sidewalk Ends

著者名 Shel Silverstein
出版社 Harper Collins 価格 2,500 円 + 税 ※洋書のため価格は変動します 分類：英米文学

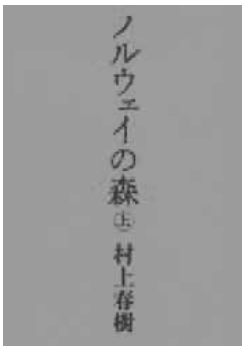


Shel Silverstein's poems are happy, and silly, and sometimes surprisingly deep. Students often ask how to get better at language and I can say confidently that one very good way is to read - a lot. I recommend this book to you because the poems are short and fun. You can skip around and find what suits your personality. It's a very gentle entry into reading English a little every day and actually enjoying it. I've loved this book for 30 years. I hope you will too.

●推薦者名 佐藤 健二 ●所属 総合科学部 社会総合科学科

ノルウェイの森〈上・下〉

著者名 村上春樹
出版社 講談社 (講談社文庫) 価格 各 514 円 + 税 分類：日本文学



著者自身は本書を「成長小説」だと言う。著者の言う「成長」とは、親しい人を、何らかの形で失っていく、それにもかかわらず、生き延びていくことのようなのである。

こうした喪失からの回復に重要なものが、本書には2つ示唆されている。1つ目は本書の冒頭にある。語り手である37歳の「僕」は、「ノルウェイの森」と言う曲を聞いて激しく混乱する。その曲は、大学生の頃の喪失体験に深く関係しているのである。そして、その体験を文章にして「書くこと」で、その理解に努めようとし、物語は始まる。

2つ目は「他者」とのコミュニケーションである。「僕」は、資質として、また、喪失体験の結果として、内に閉じている。その「僕」が、本書では恋愛を通して「他者」に、世界に対して開かれ、生き延びていく。

新入生には、既に、喪失を体験している人もいれば、いずれ、それを体験する人もいるだろう。喪失を体験したとき、本書を読むことが、回復に役立てば幸いである (なお、筆者の研究室では、ネガティブな感情を伴う体験を書くことが心身に及ぼす影響を研究している。興味を持った方は是非、ご参加を)。

●推薦者名 佐藤 充宏

●所属 総合科学部 社会総合科学科

「健康格差社会」を生き抜く

著者名 近藤克則

出版社 朝日新聞出版（朝日新書） 価格 780円＋税 分類：医学・薬学



現代社会に身を置く私たちにとって「健康」は人としての生存権にもかかわる重要な価値である。筆者は『健康格差社会』の拡大で『負け組』だけでなく『勝ち組』でさえも不健康になってしまう。日本は今そんな国になった。」と警鐘する。その原因を健康と社会との結びつきに求め、経済、社会疫学、社会関係資本、ストレス生活、健康政策・・・と様々な角度から社会問題として紐解いて見せる。彼の主張する健康の社会デザインは「人の生き抜く力」を根っこに這わせて編成されており、読者の心に沁みこんで新しい気づきを与えてくれるだろう。健康づくりに関心を持つ学生にはぜひ触れてほしい一冊である。

●推薦者名 堤 和博

●所属 総合科学部 社会総合科学科

COSMOS 〈上・下〉

著者名 Carl Edward Sagan (訳：木村繁)

出版社 朝日新聞出版 価格 各1,600円＋税 分類：天文学・宇宙科学



ばりばりの文系である私が、高校3年生の時に読み始めてやめられず、遂に浪人することになった痛恨の本である。宇宙を英語で言うと普通 universe を思い浮かべるかも知れない。ある英和辞典によれば、universe は「宇宙；万有、天地万物、森羅万象」と説明され、cosmos は「(秩序と調和のある体系と考えられた) 宇宙」と説明されている。本書は天文学者であった著者が、宇宙の秩序と調和を、科学の知識の乏しい人にも分かり易いように説明したものである。本書を読むと、天文学とその関連分野（物理学・地学など）のみならず科学全般の勉強になる

ののだが、科学や天文学を通じて著者が訴えようとする地球や生命を慈しむ哲学を読み取って欲しい。説明は、著者の該博な教養を十二分に駆使してなされており、読んでいると著者の教養の cosmos を泳いでいる感がする。例えば、進化論の説明は、『平家物語』から説き始められるのである。色々な意味で、文系・理系両方の学生に、受験を終えた今こそ読んで欲しい本である。

●推薦者名 山内 暁彦

●所属 総合科学部 社会総合科学科

2001年宇宙の旅 決定版

著者名 アーサー・C・クラーク

出版社 早川書房 (ハヤカワ文庫) 価格 800円+税 分類: 英米文学



キューブリックの『2001年宇宙の旅』を初めて見た時の驚き、不思議さは今も忘れることができない。モノリス、HALの反乱、ホテル(?)の部屋、スターチャイルド…。まさに不可解な謎の連続であった。近年、本書に接し、やっといくつもの謎に1つの解答が与えられたような安堵感を味わうことができた。だが、本書は、実は、映画の原作でもなければ、そのノベライゼーションでもない。映画製作と同時進行で書き進められたものであって、一方が他方の「元」であるというのではないのだ。だとすれば、私が得られたと思った解答もまた仮のものであって、多くの解釈のうちの一つに過ぎないのであると考える方が妥当だ、ということになる。映像と

言語とが、互いに重なり合ったり分裂したりしながら、新たな意味を(見る者=読む者)の内に産出し、更なる想像力を喚起するという可能性を無限に含んだ稀有な状況がここにはある、と言えるだろう。

●推薦者名 依岡 隆児

●所属 総合科学部 社会総合科学科

それでも、読書をやめない理由

著者名 デヴィッド・L. ユーリン (訳: 井上里)

出版社 柏書房 価格 1,600円+税 分類: 図書館・図書館学



大学に入ってから本を読まなくなったという人は、結構いるのではないですか。大人になればなるほど、本は読まなくなっていくようです。IT技術の拡がりのなか、このままだと読書という行為がなくなってしまうかもしれませんね。

そこで、アメリカのコラムニストが読書について書いた本を紹介します。友だちのだれも本なんか読まないよ、と言う息子に、学校の課題図書である『グレート・ギャツビー』を読ませようと、読書の理由を説くが、うまくいかない。むしろ作者自身がその小説を読み直し始めるところが、この本のミソなのです。

スピード第一の時代、瞬時に反応することが肝腎とばかり、考える前に反応するような生活をしているうち、私たちはいつしか「様々な嘘にあっけなく影響」されるようになっていく。それに対して作者は、「余裕を持って深くのめりこむ姿勢こそ大切なのだ」と主張します。

しかし、この読書という、時間をかけて深く考える体験は貴重だと、ただ言うばかりではありません。どうしたら息子に本の魅力を伝えられるかと考える

うちに、作者自身が実際にその本を読み始めている。そう、読書の危機を感じる当の本人が、読みたくなくてまた読書を実践するのです。それこそが、読書文化の滅亡に抵抗する、ささやかながらも確実なやり方なのではないでしょうか。これを読むあなたもきっと、また本を手に取りたくくなるはずです。IT時代を生き抜くためにも、これからの大学生活、「読書をやめない」ようにしたいものです。

●推薦者名 依岡 隆児

●所属 総合科学部 社会総合科学科

寺田寅彦随筆集 全5巻

著者名 寺田寅彦

出版社 岩波書店 (岩波文庫)

価格 3,300 円 + 税

分類: 日本文学



「天災は忘れたころにやってくる」の言葉であまりにも有名な寺田寅彦は物理学者ですが、エッセイや俳句を作る文学者でもありました。しかし、この多面的な活動はどこかでつながっています。

日常の中に不思議を発見して、そこから自然の法則を見つけ出そうとするその態度は、自然科学だろうが文学だろうが、変わらない。満員電車の混み具合の規則とか、貝殻の渦巻きの法則とか、金平糖の「角」のできる理由とか、身の回りの事柄から彼の「身の丈」の科学は始まり、そのかたわらでとかく見過ごされがちな題材をユニークな視点で描くエッセイも生まれてくるのです。自然科学者だが、学者くさくない。急いで満員電車で飛び乗るよりは数分間、次の電車を待つというタイプ。足が速くて頭のいい旅人になるより、寄り道して思わぬみつけものをするのを楽しむ人です。

高知で自然に包まれて育った彼は、「化物の進化」というエッセイで、幼いころのゾットするという経験が現代ではなくなっていくと嘆いています。すべてを科学的に説明しつくしたとする近代科学の傲慢さをいさめ、百年前の人々

の迷信をわれわれは笑うが、百年後の人間にわれわれの科学が迷信として笑われないとも限らないとも言う。化物の存在にゾットするという感性は彼にとっては自然の計り知れなさへの畏敬の念からくるものなのです。科学の教育において、心すべきことではないでしょうか。今こそ、読まれるべき本です。

●推薦者名 依岡 隆児

●所属 総合科学部 社会総合科学科

読書からはじまる

著者名 長田弘

出版社 NHK出版 (NHKライブラリー)

価格 830 円 + 税

分類: 図書館・図書館学



本は本 (もと) と書くのは、言葉が本 (もと) であるということだと、まずこの本は述べています。皆さんの大学生活が「読書からはじまって」ほしいという願いを込めて、私は詩人・長田弘のこの本を推薦したいと思います。

「いい本というのは、そのなかに『いい時間』があるような本です。読書といういとどなみがわたしたちのあいだにのこしてきたもの、のこしているものは、本のもっているその『いい時間』の感覚です」。

「いい本」に出会うことで「いい時間」という感覚を持てると述べられています。読書という行為は孤独な営みだけれど、この「いい時間」という「感覚」が人をつなぐのです。また、

本を読むことで古来、人間が言葉で伝えてきた記憶を共有できるとも、この詩人は言っている。読書とはそのようなあり方で私たちに、社会がほんの少し温かく感じられるようにしてくれるものなのではないでしょうか。

●推薦者名 渡邊 克典

●所属 総合科学部 社会総合科学科

ハーモニー

著者名 伊藤計劃

出版社 早川書房（ハヤカワ文庫JA） 価格 720円＋税 分類：日本文学



「病気はよくないものです／健康であり続けましょう」。病気と健康にかかわるメッセージやまなざしは、私たちの社会の常識であり疑うことすら許されないルールになっているかのようです。みんなが健康である社会は、私たちにとって理想的な社会＝ユートピアなのでしょう。

伊藤計劃『ハーモニー』は、そんな「健康なユートピア社会」を裏返して－ディストピアとして－描くSF（サイエンス・フィクション）作品です。本作品の世界の人びとは、監視カメラにもとづくコントロール技術で交通事故すら起きない環境におかれ、身体もまたマイクロなナノマシン（WatchMe）によって監視される社会で「生きて」います。身体の外と内部への監視により病気が根絶された社会において、人間の生と死はどのような意味をもつのでしょうか。本作品は、「健康な社会」の未来を突きつけます。

なお、本作品は小説だけでなくアニメ映画やコミックにもなっています。流血シーンやセンシティブな場面もありますので、そういった表現が苦手な方はお気をつけください。

●推薦者名 渡邊 克典

●所属 総合科学部 社会総合科学科

社会は情報化の夢を見る

著者名 佐藤俊樹

出版社 河出書房新社（河出文庫） 価格 950円＋税 分類：総記



「これからの社会はAIのような情報技術が重要な意味をもつ」なんて言葉が説得力をもっているようです。そんな時代だからこそ、〈情報化〉や〈情報社会〉といった事態を冷静に考えてみる必要があるのかもしれない。

『社会は情報化の夢を見る』は、「情報技術が社会を変える！」といったことがありえるのであれば、そのときに必要となるはずの手續き（因果関係が成り立つための条件）を検討していきます。そして、「情報技術が社会を変える」なんてものは、実際に起きていることというよりも、そうあってほしいと願う「夢」か「欲望」にすぎないと喝破していきます。〈情報化〉や〈情報社会〉なるものの熱に煽られがちな現代であるからこそ、社会の盛り上がりなどに目もくれぬ冷徹な検証作業が意味をもちます。

本書は、1996年に出版された内容に「新世紀あとがき」等が追加されて2010年に刊行されました。情報社会論としては古い内容も含んでいますが、いまなお「情報化の夢」の誘惑に目覚まし音を鳴らし続けています。

●推薦者名 渡邊 克典

●所属 総合科学部 社会総合科学科

日常生活における自己呈示

著者名 アーヴィング・ゴフマン (訳: 中河伸俊・小島奈名子)

出版社 筑摩書房 (ちくま学芸文庫) 価格 1,500 円+税 分類: 社会



他人の前では自分をよく見せたくなる、あるいは、他人にどう見られようと自分をよく見せることにこだわる、そんな「見た目」への執着 — 「見映え (略語である「映え)」へのとらわれ — は、現代社会を生きる人びとの特徴のひとつであるといえそうです。

『日常生活における自己呈示』は、「自分の見せ方」にこだわる社会の姿を描いた本です。1950年代の作品でありながら、いまでも世界中の大学で「社会を考える」ためのテキストとして読まれ続けています。本書のタイトルにある「自己呈示」は、社会学や心理学、人類学などさまざまな学問分野に影響をあたえました。難しそうなタイトルに見えるかもしれませんが、取り上げられているのは毎日の生活のなかにあふれている「あるあるエピソード」で、ごく当たり前の「日常生活」にある何気ないやりとりから私たちの社会のあり方に迫ります。

読書後には、ぜひ、みなさん自身で日々のありふれたやりとりをながめなおしてみてください。その先には、社会を観察し研究する面白さが待っています。

●推薦者名 和泉 唯信

●所属 医学部 医学科 臨床神経科学分野

透析を止めた日

著者名 堀川恵子

出版社 講談社 価格 1,800 円+税 分類: 家政学・生活科学



ほとんどの医学生が「患者を治す」ことを志して医学部に入学する。それは当然だ。しかし「治す」ことだけが医師の仕事だろうか。医学部入学時点では想像できないだろうが、治療が困難な疾患は少なくない。また安定した状態が得られる疾患でもその状態を維持できなくなることも多い。卒業して初期研修、専門研修と忙しくなる前、つまり医学生の時代に様々な分野の書物に触れて、今持っている先入観にとらわれることなく、広い視野を持つ医師になってほしい。

本書は慢性腎不全で透析、腎移植を必要とした夫とともに闘病した作者の体験、および多くの取材に基づき腎不全、腎透析の現場について記したものである。是非読んでいただきたい一冊であるが、個人的には緩和ケアが制度的にもほぼがん患者だけを対象としている

という現状に考えさせられた。がん患者が大変なのは言うまでもない。しかし本書で取り上げられている透析末期の患者や私の専門とする神経難病や認知症の患者も当然対象になると思われる。本書を通じて臨床現場や医療制度に対して自分なりの「なぜ？」を是非持ってもらいたい。

●推薦者名 岡久 稔也

●所属 医学部 医学科 地域総合医療学

フェニックス (不死鳥) 王昌の「モノづくり」

著者名 高鳥王昌

出版社 奈良新聞社

価格 1,300 円+税

分類：機械工学・原子力工学



株式会社タカトリは、奈良県橿原市に本社のある日本を代表する中小企業の一つである。繊維機械の製造で急成長を遂げ、半導体、液晶、LED分野でヒット商品を次々と生み出し、世界シェアの90%以上を占めるマルチワイヤーソーを開発して平成24年度経済産業省ものづくり日本大賞特別賞を受賞した。本書には、大正14年に生まれ、昭和25年に同社を創業し、これらの製品を世に送り出してきた高鳥王昌会長の人生の軌跡が刻まれている。

新しいことを創造するモノづくりには、執念を持つこと、信念やロマンを持つこと、固定概念にとらわれず色々な角度から考えることが大切である。この本の中には、世の中の役に立つ製品を開発してきた先達からの、次世代の若者に対するこれらの熱いメッセージが記されており、「創造と開拓」の精神を基に育ててきた「モノづく

りの心」を後世に伝える名著である。

これから大学生として学問やスポーツに励む人たちに、さらには研究や開発を始める人たちにぜひ読んでもらいたい1冊である。

●推薦者名 上番増 高

●所属 医学部 医科栄養学科 予防環境栄養学

しつけ帖

著者名 幸田文

出版社 平凡社

価格 1,600 円+税

分類：日本文学



みなさん、こんにちは。医科栄養学科の上番増と申します。

今回は、「幸田文 しつけ帖」を紹介します。

幸田さんは1904年の生まれで、父である幸田露伴に「学問芸術の道には向かない、お金をかせぐ人になることも、まず覚束なかろう」と言われ、父から衣食住のことを一通り教わります。本書はその時の思い出を中心にまとめられています。父である幸田露伴の文へのしつけは、ただ衣食住の一通りのことではありますが、その一通りのことを細かく分節していく術は、人が器量と雅致をバランスよく身につけることに通じていると思います。掃除に関して言えば、まず道具をちゃんとしつらえること（名工はその器をよくす）、順序立てて行うこと、理解して行うこと、美しく行うこと。そうしていくうちに、身体ができてくる。というの

が露伴の教えでした。普段なにげなく行っている、いつもの動作をどこまでも細かく「意識」し分節していくことで身体を作り上げていく喜びを知る。「今・ココ」にある生活の中の風雅を悦ぶ習慣を明治の文人は持っていたという話です。

●推薦者名 上番増 喬

●所属 医学部 医科栄養学科 予防環境栄養学

人生最後のご馳走

著者名 青山ゆみこ

出版社 幻冬舎 価格 1,300 円＋税 分類：医学・薬学



みなさん、こんにちは。医科栄養学科の上番増と申します。

今回は、「人生最後のご馳走」を紹介します。

「人生最後のご馳走」は淀川キリスト教病院、ホスピス・こどもホスピス病院のリクエスト食について取り上げた本です。

命は有限である。一方で物語は無限に広がる。

人には、固有の歴史があり、物語がある。その生身の身体を育んできたきた年月があり、親があり、兄弟があり、友人知人があり、その人自身の年来の喜び悲しみがそこに蓄積している。傷を癒す仕事に就く人には、その人が元気な時、どのように生きていたのかを想像する力が必要になる。その人が固有の物語を持つ唯一の存在であることを認めることが、「あなたのことを大切に

思っています」というメッセージになる。この本は、「あなたのことを大切に思っています」という本当に自分が欲しいものは、誰かから贈られてくる他ないということと、「人間にはその人固有の厚みと奥行きがある」ということを教えてくれる。

●推薦者名 上番増 喬

●所属 医学部 医科栄養学科 予防環境栄養学

大衆の反逆

著者名 オルテガ

出版社 中央公論新社（中公クラシックス） 価格 1,450 円＋税 分類：西洋哲学



「予言の遂行性」とは、誰かが断定的に予言したことは、誰も言わなかったことよりも実現性が高いという人類知のことである（と私の師匠が言っている）。この場合、予言は具体的であるほど実現性が高くなる。「何年後には大学を卒業して、〇〇になって働いて、（以下略）」というようなありありと想像できるような未来の方が、「俺はビックになるぜえ」といった何の具体性のないものより実現性が高い。

ところで、ノブレス・オブリージュというフランスの言葉をご存じだろうか？簡単に言うと「貴族は、大衆に比べより多くの義務を負うという」という中世貴族の倫理規範のことである。ノブレス・オブリージュの概念では貴族は生まれながらにして貴族で

あるが、オルテガは大衆も貴族になれることを予祝している。オルテガの言う貴族は、私は他のものよりも多くの義務を負うという「遂行的な意志」のことである。それが今、絶命の危機に瀕しているのだから、こうしてこの本を推挙するのである。

●推薦者名 奥村 仙示

●所属 医学部 医科栄養学科 臨床食管理学

やせる！低GIダイエット

著者名 ジェニー・ブランド・ミラー、ケイ・フォスターパウエル他
出版社 マキノ出版 価格 1,500円＋税 分類：医学・薬学



「これを食べれば糖尿病にならない」とか「健康にいい」という食べ物や健康食品を、テレビ、コマーシャル、雑誌などで毎日々みかけますよね。本当かな？って思う事多くないですか？

この本は、様々な食べ物を食べた後の血糖値について、きちんと調べた本です。オーストラリアの著者の訳本ですので、日本人にぴったりあてはまらない部分もありますが、「この食べ物のこの食べ方が血糖値をあげない」という理由をわかりやすく説明してくれています。

栄養士は「どのような成分、食品や献立が、何故よいのか」という事を調べ、正しく情報収集し、わかりやすく一般人の人に説明する仕事ですが、これから栄養士になる人もならない

人も、毎日誰もが口にする食べ物について、考えてみませんか？

英語の原文にもチャレンジして下さい。(The NEW GLUCOSE Revolution for Diabetes)

●推薦者名 酒井 徹

●所属 医学部 医科栄養学科 実践栄養学

数学者の言葉では

著者名 藤原正彦
出版社 新潮社（新潮文庫） 価格 438円＋税 分類：日本文学



以前、「国家の品格」という書籍が話題になりました。著者は藤原正彦先生で、作家の新田次郎さんの息子さんです。作家と思っている方もいるかと思いますが、実は数学者で、お茶の水女子大学で教鞭を執っていました。本書はエッセイであり、数学者としての観点から、数学、文学、日常生活に対し独自の視点からユーモアに綴られています。なかでも、学問を目指す人の性格的条件では、“知的好奇心”、“野心”、“執拗”、“楽観性”を挙げており、将来アカデミックな仕事を目指している人には是非目を通してもらいたいです。また、体罰、国語教育の重要性についても言及しており、少し偏りはあるかも知れませんが、今、日本人で欠けているもの、あるいは

欠けてしまったものは何か、今一度考えさせてくれます。みなさんが生まれた頃出版された書物ですが、今でも新鮮に読むことができると思います。

●推薦者名 竹谷 豊

●所属 医学部 医科栄養学科 臨床食管理学

生物と無生物のあいだ

著者名 福岡伸一

出版社 講談社（講談社現代新書） 価格 740円＋税 分類：生物学・一般生物学



「生物とは何か」皆さんは、考えたことがあるでしょうか。「そんなのは、簡単だ、ネズミ、スズメ、チューリップとかが生物で、机や椅子は生物ではない。」と言うことはできるでしょう。では、「生物の定義とは何か」と言われて、的確に答えることは難しいものです。筆者は、大学生の時に生物学の授業でそのことを理解しようとしたが、当時の授業から結論を得ることはできなかったそうです。その後、分子生物学者として長年の研究で培ってきた知識・経験から、生物と無生物を区別するものが何かを考察したのがこの本です。この本には、世界中の研究者がこの問題に取り組んできた様子が描かれています。そして、そのような研究の進歩に伴い、我々の生命観がどのように変遷してきたのが綴られています。しかし、本書は、生物学のこのような命題について考える機会を与えてくれる単なる読み物ではありません。この本には、様々な発見の裏に隠された研究者の悲哀、科学における不正や偽造などの問題、研究者の実態、哲学など、科学者・研究者としての心得が随所に示されて

います。生物学の研究者を目指すすべての人に読んでもらいたいと思います。特に、蔵本キャンパスで学ぶ医療系の学生には、将来命を預かるものとして、生物とは何か、科学的に理解することとはどういうことかということ、是非本書を読んで考えてもらいたいと思います。

●推薦者名 二川 健

●所属 医学部 医科栄養学科 生体栄養学

アイデアのつくり方

著者名 ジェームス・W・ヤング（訳：今井茂雄、解説：竹内均）

出版社 阪急コミュニケーションズ 価格 800円＋税 分類：心理学



雑誌の帯に、60分で読めるけれど一生あなたを離さない本とあり、非常に簡単に読めますが、社会にでて活躍するためのノウハウが述べられています。大学で研究するにしても、あるいは会社で企画するにしても、その分野で生き残っていくためには、他人とは違うアイデアを出していかなければなりません。他人のまねごとを繰り返しているだけでは、その人物はいなくてもよいということになります。つまり、アイデア勝負の世界では、いかに優れたアイデアを生んでいくかが、その人の人生を左右するわけです。この本を読む前には、アイデアを次から次へと出す人は天才だから、凡人の私なんか、アイデア勝負の世界では生き残れるはずがないと思っていました。たまたま良いアイデアが生まれてもそれは偶然でこれから先続くことはないといつも不安

でした。しかし、この本を読んで、この本の通り行えばアイデアは枯渇することはないという自信がついてきました。私のような中年でも応用範囲が広いのですから、若い学生にはもっと役立つはずですよ。

●推薦者名 二川 健

●所属 医学部 医科栄養学科 生体栄養学

生きること学ぶこと

著者名 広中平祐

出版社 集英社（集英社文庫） 価格 480 円＋税 分類：伝記



本書は、昭和 45 年数学のノーベル賞といわれるフィールズ賞を受賞した広中平祐氏の著書である。数学の分野にとどまらず、科学や芸術など「創造したい」と思う者すべての人になるほどと考えさせられる良書である。人は、「なぜ学ばなければならないのか」という問いに対して、「知恵」をつけるためだとわかりやすく説明されている。創造することの楽しさ、喜び、苦しみを自身の研究をベースに述べられているので、たとえ数学はわからなくても理解できるはずだ。私が特に感心、感動した箇所は二つある。一つは、「創造するためには、逆境が必要である。」という箇所である。きのこ（松茸）はきわめていい条件が与えられると次第に筋根を広げながら発達していく、しかしこの好条件がいつまでも続くと、根だけが発達してきのこを作らずに、ついには老化して死んでしまうらしい。逆境は苦しいものだが、人が成長するには絶対に必要なものであると広中氏は述べている。これは私の座右の銘である「逆境を楽しめ！」という

言葉に通じるところである。もう一つは、人間の成長を阻害する代表的なものに、「妬み」「ひがみ」「焦り」がある。天才的な人物が多い数学の世界で勝ち抜いてきた広中氏だからこそ、これらに対する（我々でもできる）対処方法をわかりやすく述べているのである。

●推薦者名 二川 健

●所属 医学部 医科栄養学科 生体栄養学

沈まぬ太陽（アフリカ編上・下、御巢鷹山編、会長室編上・下）

著者名 山崎豊子

出版社 新潮文庫 価格 670 円～ 750 円＋税 分類：日本文学



本書は、ご存じの通り 1985 年に起こった日航ジャンボ機墜落事故を中心に、かつて日の丸航空会社と言われた日本航空の組織的な腐敗、組織による個人への峻烈な圧力などを述べた小説である。数年前に渡辺謙氏が主演で映画化もされているが、これはぜひ本で読んでほしい。文庫本で 5 冊の大作であるが、私は、一度読み始めると止まらず寝食を忘れて 1 週間ほどで読んでしまった。特に、第 3 巻の御巢鷹山編は、山崎氏の綿密かつ膨大な取材により、亡くなった方々一人一人を丁寧かつ綿密に描いており、読む途中本当に涙をとめることができなかった。人が生きていく上で、逆境は必要であるが、ここまでの逆境に主人公（恩地元）のように自分は耐えられるだろうかと深く考えさせられた本である。

●推薦者名 岡久 玲子

●所属 医学部 保健学科 看護学専攻 地域看護学

人を助けるとはどういうことが 本当の「協力関係」をつくる7つの原則

著者名 エドガー・H・シャイン（監修：金井壽宏 訳：金井真弓）
出版社 英治出版 価格 1,900円＋税 分類：社会



人は日常生活の中でともに支え合い生きている。「支援」とは人にとって必要不可欠であり、人間関係の基本であるといえる。しかし、助けたいと思い行動しても、役に立たないばかりか人の心を傷つけてしまうことさえある。なぜ、このような結果になるのだろうか。

本書は、人を助けるというものの意味や、支援者が陥りやすい罠、「支援」のための原則とコツ等を平易に解説しており、この疑問に答えてくれる。また、身近な事例を通して考えながら読み進むことができ、今後の実践につなげることができる。著者のエドガー・H・シャインは、人と人との相互作用に焦点をあて、その過程を重要視する「プロセス・コンサルテーション」の考え方を「支援」の基盤においている。

これから看護師、保健師、養護教諭など支援の仕事に携わる人のみならず、家族、友人、知人との関係の中で支援をする際に、また支援を受ける側にたった際にも役立つお勧めの1冊である。

●推薦者名 奥田 紀久子

●所属 医学部 保健学科 学校保健学分野

噛みきれない想い

著者名 鷺田清一
出版社 角川学芸出版 価格 1,700円＋税 分類：日本文学



自分は大きくなったらヒーローになる！と信じて疑わなかった幼いあの日。やればできると励まされ、ひたすらに努力を続けた日々。いつの間に、人は万能ではないことに気づき、しかも、自分が存在することの価値すら疑ってしまうようになるのだろう。なぜこんなに人とのコミュニケーションが難しいと感じるようになるのだろうか。どうして穏やかな人間関係を続けるのは難しいのだろうか。この本は、そんなもやもやとした自分の想いの噛みきれなさの原因がどこにあるか、そっと気づかせてくれる。正解が書かれているわけではない。しかし、読み終わった後に、自分のことが少しだけ愛おしく感じることでできるメッセージにあふれている一冊である。

●推薦者名 白山 靖彦

●所属 歯学部 口腔保健学科 地域医療福祉学

ルフィの仲間力 — 「ONE PIECE」流、周りの人を味方に変える法

著者名 安田雪

出版社 アスコム 価格 1,200円＋税 分類：社会



今や「ONE PIECE」という漫画を知らない人はいないでしょう。主人公「ルフィ」が海賊王になるために仲間との絆を深め、敵と戦いながら様々な経験を培っていく物語です。その仲間力に注目し、社会ネットワーク分析の第一人者である著者が「仲間を集める方法」「仲間と助け合う方法」「仲間の信頼を強化する方法」「仲間と一緒に成長していく方法」についてわかりやすく説明しています。中でもルフィという人間の特性が絶妙に描かれており、わたし自身もう一度原作を読みたくなったほどでした。東日本大震災において地域の仲間力が絆となり、復興の原動力となっています。これから

は、それぞれの立場の人々が自分の仲間力を育み、そして助け合う社会をつくっていくことが求められており、その意味でもお勧めの書と言えます。

●推薦者名 佐藤 陽一

●所属 薬学部 医薬品情報学

Y染色体からみた日本人

著者名 中堀豊

出版社 岩波書店（岩波ライブラリー） 価格 1,200円＋税 分類：生物科学・一般生物学



Y染色体は男性を決める以外はたいした機能をもっていない、不必要なところばかりで、退化していく染色体である。しかし、ヒトの進化を知るうえで非常に重要な情報をもっている。なぜなら、Y染色体は母親由来の染色体とは組換えをおこさないからである。つまり何世代、何万年たとうとも突然変異をのぞけば、基本的にY染色体の塩基配列は変化しない。本書では性はどのように決められるのか、日本人はどのように成り立ったのか、縄文人と弥生人はどうおりあいを付けてきたのか、Y染色体が語るさまざまなエピソードについて分かりやすく紹介している。

●推薦者名 竹内 政樹

●所属 薬学部 分析科学

会社人生に必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ

著者名 齊藤正明

出版社 毎日コミュニケーションズ (マイコミ新書) 価格 780 円+税 分類: 倫理学・道徳



タイトルに「会社人生」と入っていますが、期待と不安に胸膨らませて本学に入学された新生に是非読んで頂きたい一冊です。民間企業の研究者であった筆者は、ひよんなことからマグロ船に乗るはめになります。マグロ船は全長わずか20 mの小さな船で、一度漁に出ると40日以上も陸に戻ることはできません。筆者は、この非常に過酷な空間で生活する漁師らが対人関係のストレスをためていないことに気づきます。漁師らは自分たちの生活をどのように考え、それを実践することで良好な人間関係を築いていたのでしょうか。本書にはその答えが筆者と漁師らの会話形式で綴られています。

マグロ船上でのエピソードを通じて、私たちの日常生活にも使える「ストレスをためない方法」と「人とのコミュニケーション術」がユーモアを交えて紹介されており、気軽に読める一冊となっています。

●推薦者名 土屋 浩一郎

●所属 薬学部 医薬品機能生化学

独学の教室

著者名 読書猿、吉田武 他

出版社 集英社 価格 860 円+税 分類: 教育



大学に入学して、専門の教科書を買って、履修登録を済ませて、授業に出て、という日常の生活とは別に、自身で興味を持った事について学ぼうとしたら、みなさんはどのような方法を考えますか？詳しい友人（師匠、先生）に教えてもらうほか、「独学」として専門書を購入すること、さらには最近ではYouTubeチャンネルやSNSを使う方法も広まりつつあります。ここで独学という一人でコツコツという姿を思い浮かべ、(一度はチャレンジしてみたが) ダイエットと同じで長続きしないと感じていないでしょうか。本書は独学が三日坊主になりがちな理由を解説するとともに、独学道を極めた14名の著者が「独学の方法」を自身の経験を交えて具体的に紹介した内容が網羅されており、そのジャンルは語学、ビジネス、美術、読書、ノート術、

漫画、数学、物理学、冒険と、多岐にわたります。

是非一読いただき、大学生時代には専門科目を学ぶだけでなく、独学による学びの楽しさに気付いてもらえればと思います。

●推薦者名 中尾 允泰

●所属 薬学部 分子創薬化学

有機化学の理論 ～学生の質問に答えるノート

著者名 山口達明

出版社 三共出版株式会社 価格 2,600 円＋税 分類：化学



大学に入学すると様々な専門分野を学びますが、とりわけ化学に興味のある学生さんにとって有機化学はとても面白い分野だと思います。有機化学は有機化合物を化学構造式で理解する学問です。また、薬の薬効の本体は有機化合物であることから、有機化学を習得することは創薬化学においてとても重要です。今回紹介する『有機化学の理論～学生の質問に答えるノート』は有機化学を学び始めた学生さんの誰もが思う「なぜ？」という質問に答える形式で構成されています。その「なぜ？」には大部分の学生さんが疑問に思う内容がピンポイントでピックアップされており、簡潔にわかりやすく解説されていることから、有機化学の理解を深める助けとなることが大いに期待されます。さらに、詳しく勉強したい人のために、参考文献も豊富に記載されています。

新入生のみなさん、ぜひ一度読んでみて有機化学の楽しさにふれてみて下さい。

●推薦者名 青矢 睦月

●所属 理工学部 理工学科

大陸と海洋の起源

著者名 アルフレッド・ウェゲナー（訳：竹内均）

出版社 講談社（講談社学術文庫） 価格 1,100 円＋税 分類：地球科学・地学



大地は動く。今では当たり前のことが100年前には全くのファンタジーだった。ウェゲナーが唱えた「大陸移動説」は当時の学会で激しい批判を受け、一度は学会から消滅する。しかし、現在の目でこの書、彼の構築した科学的考察を見直したとき、ある種の感動を覚えずにはいられない。なぜ当時の科学者はこうも美しく組み上げられた学説を受け入れられなかったのか、人間はいかに偏見に満ちた動物なのか、と。のちにプレートテクトニクスはこの「大陸と海洋の起源」を礎に確固たる地球科学の基本原則として成立する。彼の議論の大部分は正しかったのだ。地学の知識がある人にはある人こそその感動が、また、ない人にはまた別の感動が、この書には満載されている。特に、科学を志す者に対して

は、科学者としてあるべき姿勢をも教えてくれる。決して読みやすくない。故竹内均氏の名解説だけを読むのも一手だろう。流し読みでも構わない。一読をお勧めする。

●推薦者名 石田 徹

●所属 理工学部 理工学科

自分のための人生 — 今日を賢明に生きてますか

著者名 ウエイン・W・ダイアー (訳: 渡部昇一)

出版社 三笠書房 (知的生きかた文庫) 価格 590 円+税 分類: 倫理学・道徳



劇的に直球すぎて、小っ恥ずかしく (こっばずかしく) なる書名であるが、悩んだ時のモヤモヤ感をスッキリ解決してくれる本である。著者の主張は次の2つに集約される。1つめは、全ては自分が選択することができるということである。「全て」には、自分の行動、感情、思考から人としてのあらゆる幸福までも含まれる。2つめは、自分が制御できることとできないことを区別して、制御可能なことだけに関わるが、制御不可能なことには関わらないということである。突き詰めて考えると、人が制御可能であるのは、自分の脳と体および現在という時間だけであるのに、人は制御不可能なこと (例えば、過去、未来、他人の対応や評価など) にとらわれて、後悔したり不安になったり悩んだりする。著

者はもともと医学部所属の心理学者で臨床治療の経験もあり、上記の事柄や実践方法を著者らしく論理的に、かつ、とてもわかりやすく解説している。何かで悩んだ時に一読することをおススメする。

●推薦者名 加藤 雅裕

●所属 理工学部 理工学科

深夜特急1 — 香港・マカオ —

著者名 沢木耕太郎

出版社 新潮文庫 価格 550 円+税 分類: 日本文学



10月初め県外の大学に通う長男が読みたいと言ってきた。送ろうかと言うと、今いろいろと忙しいから年末帰ったら持って帰ると言う。全6巻、私が読んだのは14年前。その後、興味をもった学生に貸したことがあったが、ほとんど家の本棚に眠っていた。年末まであと3ヶ月、久しぶりに読み返してみようか。ぼかぼかとした陽気の日曜日にふと読み始めた。おぼろげなイメージはあるが、内容はほとんど覚えていない。確か、日本から出発してヨーロッパへ行く話だったが、いきなりインドのデリーにいる。しかし、読み始めると引き込まれる。引き込まれる。微かな記憶がよみがえり、読んだ当てもどンドン引き込まれたことが思い出される。でも初めて読んだのも39歳。大きな可能性を秘めた、何でもできる大学生の時、読んでいたらどんな風を感じただろうか。旅した著者は当時26歳、みな

さんと同じぐらいだ。好奇心が旺盛で無鉄砲、食欲にチャレンジする著者の行動が爽快だ。私も20代に戻った気持ちで年末までに全6巻を読破する予定である。みなさんもまずは第1巻を読んでほしい。「深夜特急」の魅力の虜になること請け合いである。

●推薦者名 日下 一也

●所属 理工学部 理工学科

平賀源内に学ぶイノベーターになる方法

著者名 出川通

出版社 言視舎 価格 1,500円＋税 分類：伝記



この本に登場する平賀源内は、1700年代に鎖国の江戸中期の日本において藩などの枠組みを超えて圧倒的な存在感を持って活躍した人物です。蘭学者、科学技術者、文学者、浄瑠璃作家などのさまざまな分野で活動した人物ですが、科学、技術、事業の狭い視点でみると“中途半端なマルチ人間”としてあまり評価されていません。ここでは「イノベーター」という広い視点から源内を捉え、彼の生涯を高く評価しています。イノベーターとは事業先駆者ともいわれ、企業や組織の中で新しいことを試みる人たちです。すなわち、ほかの誰もがしないことを先陣切って最初に行う人のことです。イノベーターの存在がなければ新たな開拓が行われなくなり、企業や組織の発展は完全に閉ざされてしまいます。現在の企業ではこのイノベーターの能力が重要視されています。

源内は長崎で日本と海外の貿易により貴重な金銀が海外に流出していることに危機感を募らせ、それを阻止するために様々なイノベーション活動を行ってきました。国内で既存の技術を使って工夫すればほとんどのものは輸入する必要はないし、日本の職人芸でアレンジすれば、むしろどんどん諸外国へ輸出

できると考えたのです。彼のイノベーター的な発想や知恵は、これからの日本を引導する先駆者となる人々にとって大いに参考になると思われます。未来の技術立国日本を支える若きエンジニアに読んでいただきたい一冊です。

●推薦者名 日下 一也

●所属 理工学部 理工学科

プレゼンテーションZen第3版

著者名 ガー・レイノルズ (訳：熊谷小百合、白川部君江)

出版社 丸善出版 価格 2,600円＋税 分類：経済



君たちは大学生活において、そして社会に出た後も多くのプレゼンテーションの機会があるだろう。報告会では君たちが築き上げてきた成果を他の人々に正確に伝えることが要求される。そして、プレゼンテーションの成功が君自身の評価に直結することになる。本書の冒頭に「99%のプレゼンが最悪である」と紹介されている。すなわち、わずか1%のみが良いプレゼンテーションであり、現実にはほとんどの成果がきちんと伝わっておらず、そのために高く評価されていない。本書では良いプレゼンテーションを行うための提案が非常に分かりやすく紹介されている。すぐに真似して取り入れることができるカラフルなスライドも多く掲載されており、ためになる情報が満載である。タイトルの「Zen」は「禅」を意味しており、コミュニケーションが禅と同じ精神（美学、集中力、一体感など）を共有できることから用いられている。ただし、プレゼンテーション

をいつもと違った現代の視点から眺めようとするコミュニケーションの本であり、禅の本ではない。コラム的に紹介されている世界的に著名なプレゼンターの記事も面白く、取り入れることで確実に君のプレゼンテーション能力を高めることにつながるお薦めの一冊である。

●推薦者名 田村 隆雄

●所属 理工学部 理工学科

仕事は楽しいかね？

著者名 デイル・ドーテン (訳：野津智子)

出版社 きこ書房 価格 1,300円＋税 分類：倫理学・道徳



大学で何をすれば良いのか悩んでいませんか。あるいは毎日が退屈で、やること全てに意味がないと早くも人生に空しさを感じていませんか。そんなときにはこの本をお薦めします。この本には、今まで役に立たないと思っていたこと、なんとなく目の前を過ぎ去らせていた事などの見方を変え、毎日を楽しくする魔法のフレーズが沢山詰まっています。例えば、なんとなく選択した授業までが自分の将来を拓くアイデアに詰まった宝箱のように思えるようになります。私がこの本の中で一番気に入っているフレーズは「新しいアイデアというのは、新しい場所におかれた古いアイデアなんだ。」です。きっと皆さんも大学生活を楽しく過ごし、キャリアアップに繋がる魔法のフレーズを見つけることができるでしょう。2～3時間ほどで読めてしましますが、何度でも読み返したくなる本です。

2～3時間ほどで読めてしましますが、何度でも読み返したくなる本です。

●推薦者名 富田 卓朗

●所属 理工学部 理工学科

科学するブッダ 犀の角たち

著者名 佐々木閑

出版社 KADOKAWA (角川ソフィア文庫) 価格 800円＋税 分類：自然科学



学ぶということはどういうことだろうか。教養を身につけるため、あるいは就職に役立つため。この問いには実に様々な答えがあるだろうし、どれが正解というものでもないだろう。ここで紹介する『犀の角たち』は、この問いへの新たな答えを与え、学ぶことに対する視野を広げてくれるものである。

本書は、仏教書であるが、実際には3分の2以上を費やして最新の基礎科学に関する説明が述べられている。その内容は物理学、生物学、数学と多岐に渡るが、いずれも最先端の内容を極めてわかりやすく説明してある。そのため、科学の入門書として読むこともできる。また、これら科学の歴史的変遷を『人間化の視点』という観点から捉えており、これを原始仏教の考え方(思想)と関連付けて議論している。

詳細は本書に譲るが、学問も原始仏教も『超越者の存在を認めず、現象世界を法則性によって説明する』という点で見事なまでに一致している。このような思考方法の普遍的な有効性に触れて頂ければ幸いである。

●推薦者名 ナカガイト アントニオ ノリオ
(Antonio Norio Nakagaito)

●所属 理工学部 理工学科

The New Science of Strong Materials: Or Why You Don't Fall Through the Floor

著者名 J. E. Gordon

出版社 Penguin (Penguin Science) 価格 約2,000円+税 ※洋書のため価格は変動します 分類: 技術・工学



James Edward Gordon は材料科学と生体力学の創始者の一人だと言われています。グラスゴー大学で造船工学の学位を取り、船や飛行機の製作に使われる木材、鋼鉄、プラスチックや複合材料等、様々な新材料の研究を行った人物です。レディング大学の教授、名誉教授でもあり、その長いキャリアのすべての経験に基づいて書かれた本で、材料の強さの秘密を原子論的観点から説明がされています。材料科学に興味ある方にはぜひこの本を読んで欲しいです。

残念ながら日本語版は絶版になっているが、元の英語版は英国英語で書かれているので英語を読むとても良い練習にもなります。西オーストラリア大学教授 Caroline Baillie 先生はこの本について素晴らしいと言います。Baillie 先生は材料科学で有名な研究者で、「Building the Impossible」と言うBBCのテレビドキュメンタリーをホストしたために最も知られていて、材料に関する分野を選んだきっかけは、高校生の時この本を読んだからだと言っています。素人でも簡単に理解できる程度で書かれているにも関わらず材料の秘密を多くの専門分野にわたる知識が述べられています。ですから、安心して苦痛がない読書体験になります。

●推薦者名 真壁 和裕

●所属 理工学部 理工学科

君たちに伝えたい3つのこと

著者名 中山敬一

出版社 ダイアモンド社 価格 1,429円+税 分類: 倫理学・道徳



「能力が高いのに志が低いアムロの悲劇、能力が低いのに志が高いシャアの悲劇」?、「実は医者もルーチンワーカー」?

「内容が過激すぎて科学雑誌への掲載がボツになった幻の原稿『教授からのメッセージ』の完全版書籍化!」と出版当時の帯に書かれていたほど歯に衣着せずに語られ、ネット上でも賛否両論で炎上した本書ですが、その冒頭には、世の中のどんな仕事でも「クリエイター」と「ルーチンワーカー」に分けられるという著者の強い信念が述べられています。みなさんはどちらを目指しますか? 絵描きですか、似顔絵描きですか? 「野球選手を目指しているながら、テニスコートで球拾いしたがる」人にならないために、男性でも女性でも、理系でも文系でも、専門職を目指す人にもビジネスマンになりたい人にも、「一度きりの人生を悔いなく生きる

ために必要な3つのこと」があります。ハタチになる前に、ぜひ読んでおいてください。(でも、全部を鵜呑みにすることはありません。真偽を疑いながら、主張のひとつひとつを丹念に読み解くことも大切です。笑)

●推薦者名 眞壁 和裕

●所属 理工学部 理工学科

自分のアタマで考えよう

著者名 ちきりん

出版社 ダイアモンド社

価格 1,400円＋税

分類：心理学



大学に入ると、これまでの受験科目だけの勉強から、多数の幅広い学問領域を学ばなくてはいけなくなって大変です。しかし、1～2年生に必要なことは、いきなり各分野の細かい知識を詰め込んだり誰かが出した結論を丸覚えしたりすることではありません。

急がば回れ。十代を終える前に必要なのは、まず自分のアタマで「正しく」考える技術の修得です。「知っている」と「考える」のとは、まったく別モノです。と言って、「下手の考え休むに似たり」とか「車輪の再発明」とか揶揄されるように、先人の知恵をまったく無視して自己勝手流に考えてもダメですよね。「じゃあ、なにをどうやって考えればいいの？」と思う人が多いことでしょう。本書では、「なぜ？だからなんなの？と問うこと」や「あらゆる可能性を検討しよう」など自分のアタマで考えるための基本から、「グラフの使い方が思考の生産性を左右する」など専門科目の学習にも欠かせないロジカルな態度、「情報ではなくフィルターが大切」のような将来

の進路を決めることにも繋がるテクニックが、人気ブロガーである著者による親しみやすい文章で分かりやすく解説されています。これまでの人生で一度でも「考えが浅い」とか「もっとよく考えろ」とか言われた憶えのある人には、特にお薦めです。

●推薦者名 眞壁 和裕

●所属 理工学部 理工学科

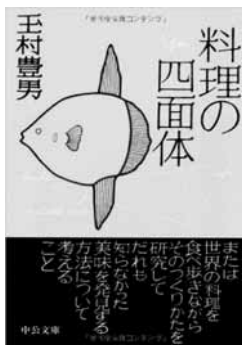
料理の四面体

著者名 玉村豊男

出版社 中央公論新社（中公文庫）

価格 648円＋税

分類：家政学・生活科学



大学に入っても、習った知識や考えを授業科目名の枠の中だけに留めて、世界（宇宙）をひと繋がり総体として理解しようと思わない人が多いです。ひとつの科目の知識を覚えるだけで隣接する分野の現象には結びつかないとか、決まったことはできても応用が利かないとか、カレーの作り方は覚えただけでシチューは作れないとか。

大学に入って下宿を始め、初めて料理をしようと思った人も多かもしれません。薄いレシピ本の10種類の料理をマスターするのに四苦八苦していませんか？ひとつひとつレシピを覚えていくだけでは、その数の料理しか作れません。しかし、著者は言います、「すべての料理はサラダである」と。「なにそれ」と思った人は、本書を読んでみてください。ここに書かれた「地球上のすべての料理をひとつの四面体に収めてしまう原理」を理解したら、すぐにも何万もの種類の料理が作れるようになり、さらにその原理を応用すれば、

専門科目の間の関係にも気づき、複雑なこの世界（宇宙）の構造にまで思いが及ぶ……。なぜなら、「料理の四面体」というのは、「悲しき熱帯」や「野生の思考」など構造主義的アプローチで有名な社会人類学者レヴィ＝ストロースの提唱した「料理の三角形」の拡張理論なのでから。

●推薦者名 三輪 昌史

●所属 理工学部 理工学科

代替医療のトリック

著者名 サイモン・シン、エツァート・エルンスト（訳：青木薫）
出版社 新潮社 価格 2,400円＋税 分類：医学・薬学



よくテレビや雑誌・新聞などで“〇〇が効く”、“〇〇で治った”という治療法に関する広告記事を目にします。新聞では一面を使った広告記事が多いので、本文と誤解させられますが、広告です。また同様な治療法を扱った出版が多くされています。これらの治療法は通常医療にかわる治療法として、代替医療と呼ばれています。“代替”というと“通常医療よりも優れている”、“通常医療にとって代わるすごい治療法”という意味に感じてしまいますが、定義としては単に“通常医療以外の治療法”、“本人が納得しているなら自己責任で通常医療の代わりに受けてもいい治療”というだけの意味しかありません。さて、これら代替医療はほとんどが個人の体験に基づいたもので、個人差が大きくなります。一方、病院で受けられる通常医療は、統計など科学的な評価手法により確かに有効だと判定された、過去の民間療法や新しい治療法の集大成です。その特徴は、科学的な評価を受けて有効だと判断された治療法はどんどん取り込んでいき、反対にこれまで有効だとされていた治療法でも科学的な評価でその有効性が

疑問視されると捨てちゃうという、常に進化しつづけているということです。本書は伝統的治療法や新しいアイディアによる治療法が、科学的評価と組み合わせられて医学となり通常医療となるまでの生い立ちや、代表的な代替医療に対する科学的な評価の過程を詳しく記述した本です。通常医療と代替医療だけでなく、科学的な評価方法も理解できる、よい読み物です。

●推薦者名 三輪 昌史

●所属 理工学部 理工学科

反社会学講座

著者名 パオロ・マッツァリーノ
出版社 筑摩書房（ちくま文庫） 価格 760円＋税 分類：社会



何か大きな事件が発生すると、テレビや新聞などでその背景についての解説や意見が載せられます。そのとき、解説や意見を補強するためにグラフがしばしば使われています。このときのグラフは本当に正しいのでしょうか？そもそもこの解説や意見は正しいのでしょうか？

この本では、テレビや新聞・雑誌などの主張が本当に正しいかどうか、判断する方法を面白おかしく（結果的には）説明しています。記事というものは書き手の主張でしかなく、読み手は自分で判断するものだ、ということを再認識できる本です。レポートの読み書きに必要な知識が身につくかもしれない、面白い本です。

●推薦者名 渡邊 健

●所属 理工学部 理工学科

子どもは判ってくれない

著者名 内田樹

出版社 文藝春秋（文春文庫） 価格 629 円＋税 分類：社会



この紹介文を読んでいる方は、本を読むことで自分を成長させ、大人になりたいと望んでいる方であろうと思います。大人のご思想と行動について本書はレポートされています（著者がまえがきでそう書いておられます）。長いまえがきだけでも読んでみて下さい。

これから沢山の本を手にする皆さんが「本が読む」という気になれるといいなと思います。以下、本文からの引用です。

ふつうは「私」を主語にして「本を読む」と言うけれど、私の場合は、どちらかというところ、「本が私を読んでいる」という気がする事が多い。『中略』本が私を選び、本が私を呼び寄せ、本が私を読める主体へと構築する。私はそのように考えている。

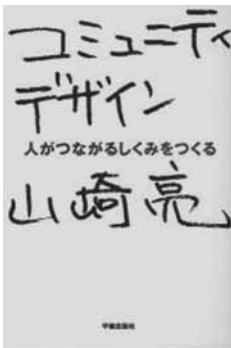
●推薦者名 渡辺 公次郎

●所属 理工学部 理工学科

コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる

著者名 山崎亮

出版社 学芸出版社 価格 1,800 円＋税 分類：建設工学・土木工学



新入生の皆さん。まちを歩くことは好きですか。美しい建物やまちなみは好きですか。人と話をすることは好きですか。著者山崎さん達は、まちが抱える問題を解決するために、まちを歩き、色々な人と話をし、住民だけでなく行政も活動に巻き込みながら、各地で「つぐらないデザイン」を展開しています。「100 万人が 1 度だけ訪れる島ではなく、1 万人が 100 回訪れたくなる島」ってどんな島なのでしょう。人のつながりをデザインするにはどうすればよいのでしょうか。本書を通じて、閉塞感の漂う社会に対し「まだまだ状況は好

転させられる」きっかけをつかんでください。建築、都市計画系の本ですが、幅広く、まち、人、デザイン、そして「公共」に興味がある方に勧めます。

●推薦者名 渡辺 公次郎

●所属 理工学部 理工学科

地域を変えるデザイン コミュニティが元気になる30のアイデア

著者名 issue+design project (著)、笥裕介 (監修)
出版社 英治出版 価格 2,000 円+税 分類：産業



書名に「地域を変える」とあります。そんなこと本当にできるのでしょうか。この「地域」は、コミュニティと考えた方がわかりやすいかもしれません。大学のサークル、学部や学科、町内会、市町村など、人が集まる対象や空間に応じて様々なコミュニティが存在します。それらを元気に、活発にするための手段として、「デザイン」が取り上げられています。ここでいうデザインとは、意匠的な美しさだけを追求するものではありません。本書では、「デザイン思考」というキーワードが示されていますが、その説明は本書に譲ります。皆さんはこれから数年間、大学というコミュニティの中で学びます。ですが、一步外に出てみると、色々なコミュニティ

が待っています。特に建設系の学生は、外部空間全てが学びの場であり、学びを実践する場です。本書では、地域を変える身近なアイデアが紹介されています。本書を通じて、皆さんの活動に何らかのヒントが得られることを期待しています。

●推薦者名 渡辺 公次郎

●所属 理工学部 理工学科

見えがくれる都市

著者名 槇文彦 他
出版社 鹿島出版会 (SD選書 162) 価格 2,000 円+税 分類：建設工学・土木工学



この本は、日本を代表する建築家の一人である槇文彦氏により書かれた都市デザイン論です。1980年第1刷とかなり古いですが、2013年に第20刷が発行されている息の長い本です。建築や都市の設計では、色々な視点から、対象地域について綿密に調査し、その場所の特性を把握することから始めます。この本では、江戸東京の都市空間を、道路網、微地形、まちの表層の3つの視点から分析し、最終章では、まちの「奥」について論じています。歴史的に、日本人は都市に何を「みて」、それがどのような「かたち」で表れているのでしょうか。この本を通じて、まちを観察する面白さを感じてください。

建築や都市に興味がある人、NHK「プラタモリ」に出てくる地形の話が好きな人にすすめます。

●推薦者名 田中 保

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

代表的日本人

著者名 内村鑑三（訳：鈴木範久）

出版社 岩波書店（岩波文庫） 価格 600円＋税 分類：伝記



今から100年以上前に、キリスト教思想家の内村鑑三が欧米に日本人の思想や倫理観を紹介する目的で書かれた [Japan and Japanese] という本の日本語訳である。代表的日本人として書かれるのは西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人の5名である。東日本大震災後の日本人は冷静で秩序ある行動をとり、精神的にも物質的にも助け合おうとした。自賛ながら、この日本人の姿は立派で美しい。勤勉で礼儀正しく、困難に耐え忍ぶ日本人はもう過去のものとして私自身も思っていたが、どっこい健在であった。将来、このような日本人の精神を受け継いだリーダーになってもらうために、この本を紹介する。今は学校で二宮尊徳や中江藤樹のよ

うな村の聖人の話を習うことはない（私も習ったことはありません）が、習うべき偉人であろう。何を抛り所に生きるべきか、あらためて考えさせられる。

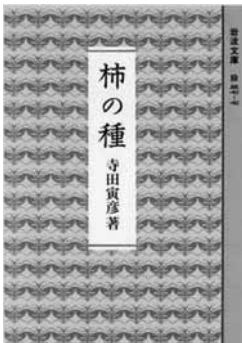
●推薦者名 玉井 伸岳

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

柿の種

著者名 寺田寅彦

出版社 岩波書店（岩波文庫） 価格 700円＋税 分類：日本文学



物理学者であると同時に随筆家としても有名な寺田寅彦の短文集「柿の種」。日常の何気ないことがらを淡々と描いた随想集であるが、その視点・切り口の独特さに感銘を受ける。本書には、「なるべく心の忙（せわ）しくない、ゆっくりとした余裕のある時に、一節ずつ間をおいて読んでもらいたい」という著者自身の願いが込められている。大学入学は本書を手にするよい機会ではないだろうか。一年くらいかけて、一編一編じっくり味わって読んでほしい。

●推薦者名 玉井 伸岳

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

秘帖・源氏物語 翁-OKINA

著者名 夢枕獏

出版社 角川書店（角川文庫） 価格 590円＋税 分類：日本文学



「源氏物語」といえば、誰もが知ってる日本で最も有名な長編小説。しかし、あの夢枕獏が「源氏物語」を自分流に書いたら…、全く趣を異にする平安の舞台が構築されてしまいました。著者自身の言葉をあとがきより抜粋しておきましょう。「最初に書いておいたが、凄い話だぞ、これは。何しろ、あの、蘆屋道満が出てくるのだ。蘆屋道満が案内役で、光源氏と道満のふたりが、京の都で、古代史をめぐる旅をするのである。古代エジプト、ギリシア、唐—と、神話をたずねて旅するその案内人蘆屋道満がメフィストフェレス役—となると自然に、光源氏がファウスト博士役となる。…（中略）…傑作です。」

●推薦者名 玉井 伸岳

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

理科系の作文技術

著者名 木下是雄

出版社 中央公論新社（中公新書） 価格 700円＋税 分類：自然科学



私たちは、普段、何不自由なく日本語を使っていますが、その日本語で、正確、簡潔、論理的に作文をするというのは皆さんが思っている以上に難しいことなのです。木下氏は、物理学者でありながら、長年、日本語の表現や思考方法に真摯に向き合い、多数の著作を発表されてきました。本書はその中でも最も有名な著作の一つで、1981年に出版されて以来、現在もなお重版の続くまさに必読の一冊。さて次の例文、何か違和感を覚えませんか？「近頃の学生は整った文章を書く能力がないと言う声をよく聞くが、私はこれは主に理科系の

の学生に関していわれていることだと思う。理科系の学生がきちんとした文章を書けないことにふしぎはない。彼らの本領は文学ではないからである。」

●推薦者名 松木 均

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

少年H 〈上・下〉

著者名 妹尾河童

出版社 講談社（講談社文庫） 価格 各 676 円＋税 分類：日本文学



新入生の皆さんは平成生まれなので、戦争は遠い昔の話だと思います。皆さんは教科書から戦争について詳しく学んでいますが、戦前、戦中および戦後での人々の心の変化について考えたことは、ほとんどないでしょう。この本は第二次世界大戦が始まる前に少年だった作者が、戦争と言う時代に大人になる成長期を過ごした日々の物語です。否応なく生活全てに関わってきた戦争に翻弄されていく中でも、逞しく生きるH少年の姿には共感できます。日本人が知っておくべきである過去の重い歴史である戦争は生活にどのような影響を与

えたのか、また、人々はその時代に何を考えて生きていたのかを知って欲しいと思います。

●推薦者名 松木 均

●所属 生物資源産業学部 生物資源産業学科

のぼうの城 〈上・下〉

著者名 和田竜

出版社 小学館（小学館文庫） 価格 各 457 円＋税 分類：日本文学



新入生の皆さん、大学生活に胸を弾ませていることと思います。私がお勧めするは理屈抜きに楽しめる歴史小説です。戦国時代、小田原北条氏に属し、“でくのぼう”と呼ばれていた小大名の成田長親が、石田三成率いる大軍勢の秀吉軍に強固に立ちふさがり、小田原落城まで唯一籠城して持ちこたえた支城「忍城（おしじょう）」の物語です。主人公の全く型にはまらない考え方や周りの人々を惹きつけていく人間性などは、これからの学生生活にも参考になるのではないのでしょうか。晴れやかな気持ちになれる読後感を感じることができる一冊です。

●推薦者名 内山 八郎

●所属 教養教育院

菊と刀

著者名 ルース・ベネディクト

出版社 講談社学術文庫 価格 1,310円＋税 分類：風俗習慣・民俗学・民族学



「菊と刀」はアメリカ合衆国の文化人類学者ルース・ベネディクトによる言わずと知れた名著である。文化人類学史の中に位置付ければ、コロンビア大学でF.ボアズに師事したベネディクトが第二次世界大戦中、米国連邦政府の依頼を受けて行った研究を基に執筆された作品である。また本作は第二次世界大戦後、急速に発展した国民性研究の火付け役となり、日本文化の持つ二面性を広く認知させる作品となった。出版から77年という長い年月が経った現在の日本ではスマートフォン、コンピューターゲーム、インターネットなど、当時には想像もつかなかった技術が普及しているが、本書には今日の大学生が読んでも鋭いと痛感する点が多々あるだろう。ベネディクトが本書を書いた時代は、今日のように比較的容易に情報を入手できる環境になかったことや、彼女が本書を執筆する際に日本でフィールドワークを行えなかったことを考慮すると、本書の質に驚かされる。この偉業は彼女の優れた洞察力と知性、そして探求心に帰属するところが大きいと言えるだろう。大学生の皆さんには、本書を一度日本語で読み内容を理解したら、今度は英語で書かれた原著“The Chrysanthemum and the Sword”を読んで

いただきたい。必要であれば辞書を使いながら、こつこつと読み進めてほしい。読破すれば、時代と文化を超越した人と人の言語による交流を可能にしてくれる読書という知的活動の持つ素晴らしさにも気づかせてくれることだろう。自分がある程度知識を持っているトピックについて英語で読むことが、英語の学習をより楽しく充実したものにしてくれるに違いない。

●推薦者名 大村 和人

●所属 教養教育院

魯迅 — 「人」「鬼」の葛藤

著者名 丸尾常喜

出版社 岩波書店 価格 3,600円＋税 分類：中国文学



どのような学部に進むにせよ、大学時代で高度な研究成果に触れることは必要なのではないかと思います。私の研究領域は中国文学ですが、学部生時代にこの本と出会い、大きな衝撃を受け、中国文学研究の一つのあり方を学びました。「文学研究って読書感想文なんですよ？」という意見に今でも出くわしますが、その「イメージ」が正しくないことはこの本が教えてくれます。

本書の題名に見える魯迅は、中国近現代の作家の中で影響力の大きい人物の一人です。日本の中学国語の教科書に収録されている「故郷」の原作者と言えば、思い出す人も多いでしょう。本書は魯迅の代表作三篇を取り上げ、それぞれの登場人物が中国の伝統文化のどのような点に基づいて作り出されたのかということを論じた研究書です。本書は文学だけでなく思想史や宗教学、民俗学等の研究成果もふまえており、中国の文化や社会の本質の一端をも教えてくれます。専門の研究書とは言え、文章は非常に読みやすいです。本書は中国語に翻訳され、版を重ねています。

なお、本書の対象作品の日本語訳は、藤井省三訳『故郷/阿Q正伝』『酒楼にて/非攻』（いずれも光文社古典新訳文庫）に収録されています。

●推薦者名 大村 和人

●所属 教養教育院

人文知 1 心と言葉の迷宮

著者名 唐沢かおり(編)・林徹(編)

出版社 東京大学出版会 価格 2,800円+税 分類:総記



本書は、人文系の様々な研究者が「人間の心と言葉との関わり」というテーマの諸問題を論じた文章を収めたものです。内容は中国語学や心理学、社会学、日本古典文学、哲学、美学等、多岐にわたります。各文章では身近な、或いはよく知られた対象を取り扱いつつも、各執筆者のこれまでの研究成果が活かされており、上記の様々な学問の「間口は広くて奥が深い」入門書となっています。各章ともに20ページ程度の分量であり、平易に書かれていて非常に読みやすく、且つとても面白いです。

●推薦者名 大村 和人

●所属 教養教育院

とびらをあける中国文学—日本文化の展望台

著者名 高芝麻子・遠藤星希・山崎藍・田中智行・馬場昭佳

出版社 新典社選書 価格 2,300円+税 分類:中国文学



本書は5人の執筆者が1人1章ずつ担当し、それぞれの専門領域に近い題材を取り上げ、「日本文化の中に中国の古典文学がどのように取り込まれたか」という問題を解き明かしています。上記のメインテーマ以外に各章に内容的な連関はあまりありませんので、順番に関係なく、気の向くままに読んでいっても構いません。読者は各章を読み進めていくうちに、それぞれが論じる問題や本書のメインテーマだけでなく、「(古典)文学とは何か」「ことばとは何か」という、より本質的で普遍的な問題に関する思索に誘われます。かと言ってどの章も堅くて難しい話ばかりではなく、身近な話題から出発して論を進めており、わかりやすく説明してくれますので、楽しみながら読めます。

●推薦者名 大藪 進喜

●所属 教養教育院

人物で語る物理入門〈上・下〉

著者名 米沢富美子

出版社 岩波書店 価格 上：780円＋税、下：800円＋税 分類：物理学



古代ギリシャから現代までの物理学の発展だけではなく、物理学者について教えてくれる本です。彼らがなぜ、どのように偉業を達成したのか。そしてその偉業の背景にあった、私生活等のエピソードは、大変人間味のあふれる物です。ニュートンは、とんでもなく悪いやつですね。アインシュタインは、ノーベル賞を離婚の慰謝料にしたそうです（ノーベル賞を取らないと離婚できなかったのか？）。オープンハイマーの才能とその苦悩からは、違う時代に生まれさせてあげたかと思わずにはいられません。

多くの物理学にふれることができますし、その科学史は、理系学生の基礎教養かと思えます。文章も難しい物理を平易に読めるように書いてありますので、文系学生にも参考になるかと。

●推薦者名 大藪 進喜

●所属 教養教育院

宇宙の「果て」になにがあるのか 最新天文学が描く、時間と空間の終わり

著者名 戸谷友則

出版社 講談社（ブルーバックス） 価格 1,000円＋税 分類：天文学・宇宙科学



宇宙の始まりから現在までを、わかりやすく書かれています。そしてわからないところは、わからないと。大事なのは、現在の技術では、なぜわからないかまで踏み込んでいるところは、感心しました。現状の宇宙の知識を平易に仕入れるのには、非常にいい本だと思います。

ただ、所々若い皆様がわからないところがあるかもしれません。これは、筆者がちよくちよく入れてきた昭和のネタです。まあ、筆者は天文の「赤い彗星」と呼ばれた男ですので、許してやって下さい。

●推薦者名 齊藤 隆仁

●所属 教養教育院

99.9%は仮説

著者名 竹内薫

出版社 光文社（光文社新書）

価格 700円＋税

分類：自然科学



高校での学習は教科書に書かれている内容を理解して『覚える』ことが中心だったでしょう。大学では、学習内容を『疑う』批判的思考力を身につけることが求められます。高校までの学習を通して培われた常識、固定観念に縛られず、頭を柔らかくしてすべてを疑う脳の柔軟運動を行うために、この本をお勧めします。「飛行機が飛ぶしくみが完全には解明されていない」から始まり、「教科書に載っている科学の知識のほとんどは仮説にすぎない」ということを天動説、相対性理論、宇宙論などを例に紹介してくれます。筆者は科学作家であり、ミステリー作家でもあります。物理の内容が書かれているのですが、高校で物理を学んでいない人にもわくわく

しながら読み、そのエッセンスは理解できるように書かれています。科学の世界を理解していく楽しさを味わってください。

●推薦者名 チャン ホアンナム
(Tran Hoang Nam)

●所属 高等教育研究センター

The Culture Map: Decoding How People Think, Lead, and Get Things Done Across Cultures

著者名 Erin Meyer

出版社 PublicAffairs

価格 2,277円＋税 ※洋書のため価格は変動します

分類：社会



グローバル化が進む中、多様な文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションが必要となってきました。大学生の皆さんも、海外旅行、留学、国際的なキャリア、外国人とのコミュニケーション等のため、異文化を理解する必要があります。この本は、著者の異文化の人々との交流経験を踏まえた多くの例を挙げながら、他の文化の人々と上手く効果的にコミュニケーションをとる方法を説明しており、楽しく読むことができます。目に見えない文化的な衝突や誤解、それらを乗り越える方法など、エピソードがたくさん載っています。この本は簡単な英語で書かれており、皆さんが英語を読む練習をするのにも役立ちます。

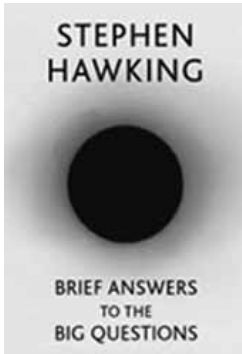
●推薦者名 チャン ホアンナム ●所属 高等教育研究センター
(Tran Hoang Nam)

Brief Answers To The Big Questions

著者名 Stephen Hawking

出版社 John Murray Publishers 価格 1,949円＋税 ※洋書のため価格は変動します

分類：天文学・宇宙科学



At Tokushima University, students are not only pursuing excellent education and research, but also aiming at becoming a global person with global perspectives and abilities to solve global issues. By reading this book, students may find themselves introduced to complicated questions of science in a way that everyone would understand. Written in a relaxed, entertaining, but knowledgeable style, the English is also simple for students to practice reading scientific English.

This book is the final project by Stephen Hawking, considered one of the greatest scientists of our time, explaining his personal views about big questions and makes some predictions for the future considering the current state of science, such as how the universe began, is there a god, is it possible to time travel, is there other intelligent life in the universe, what if AI outsmarts human etc.

●推薦者名 武川 恵美 ●所属 研究支援・産官学連携センター

LEAN IN (リーン・イン) 女性、仕事、リーダーへの意欲

著者名 シェリル・サンドバーグ 川本裕子＝序文 村井章子＝訳

出版社 日経ビジネス人文庫 価格 850円＋税 分類：経済



タイトルの「リーン・イン」は「一歩踏み出せ」というメッセージである。日本では高市政権が充足し、初の女性総理が誕生したが、政治の世界でもビジネスの世界でも、そして学問の世界でもトップになる女性はまだまだ少ない。

作者は執筆当時、Facebook（現メタ）のCOO（最高執行責任者）であったシェリル・サンドバーグ氏。幸せとキャリアを両立させる方法を、自らの子供時代から学生、就活、妊娠、転職等の経験を振り返りながら書いている。同社の創業者でありCEO（最高経営責任者）であるマーク・ザッカーバーグ氏が本の帯に「この本は、とりわけ男性に読んでもらいたい。とくにより良いリーダーに、より優れたリーダーになりたい人たちにお勧めである」と書いているように、性別に関係なく、新しい世界に踏み出そうとする人に、それを乗り越える知恵を授けてくれる。本書は、リーダーになることで社会的な影響力をもつことを勧めているが、大学のクラスやアルバイト先など身近なところにおいても「一歩踏み出す」勇気を与えてくれる本である。

序章で筆者が「自分がその立場になるまで、なぜ気づけなかったのか」と困惑する記述がある。35年間仕事をしてきた私は、本書の様々な言葉に、大変、共感を覚えるが、新入生が本書を読んでも、共感できるところは実は少ないかもしれない。本書だけでなく、何年か先に読み返してみることが、合わせてお勧めしたい。

●推薦者名 馬場 良泰

●所属 研究支援・産官学連携センター

夢を叶えるために脳はある 「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす

著者名 池谷裕二

出版社 講談社 価格 2,200円＋税 分類：医学・薬学



著者は脳神経生理学者。「脳AI融合プロジェクト」(ERATO)では、脳にセンサーチップをインストールし、本来関知できない情報を脳にフィードバックしたり、違う個体の脳と脳とを接続したり、脳とAIを連動させたりと、かなり“ぶっ飛んだ”研究を行っている。(日本薬学会賞を受賞されるなど、学術的にも評価されていて、トンデモ学ではありません)

本書は、高校生を対象に行われた3回の連続講義をもとに、「AIの仕組みを通して脳の機能を理解し、さらに“ヒトの脳は何のために存在するのか”を考える」という壮大なテーマに挑んだもので、専門的な内容でありながら対話形式でわかりやすい。

講義はまず、脳と心(認知・感覚)の関係から始まる。ヒトは赤外線や地磁気、二酸化炭素を感知できないなど、感覚器官としては決して高性能ではない。しかし、その欠落を補うかのように、脳はきわめて高度に発達している。脳は感覚情報をそのまま受け取るのではなく、記憶やイメージを自ら生み出し、世界を“物語”として理解しようとする。つまり、ヒトとは物語をつくらずにはいられない存在なのだ。

続いてAIと脳の関係についての講義に進む。そろばんをいくら分解しても計算の本質が理解できないのと同様に、脳を詳細に観察しても、心の本質そのものが直接見えるわけではない。AIは、情報にアテンション(注釈)を付与することで意味を獲得し、知能として機能する。ディープラーニングが動物の視覚野をモデルにした多層ニューラルネットワークであるように、ヒトの脳もまた、脳内信号に意味づけを行うことで世界を認識している。

さらに、やる気を生み出す脳の部位である側坐核を活性化させる方法として、「楽しいことを想像する」ことの重要性も示される。意志や努力だけでなく、想像力そのものが行動の原動力になるという視点は、学ぶことのモチベーションを上げるのに役立つ。

最後に、「エントロピーは増大する」という熱力学第二法則に反し、なぜ生命は秩序を保ち続けようとするのか、なぜヒトの脳はここまで発達したのかという、生命と存在の根源的な問いへと議論が広がっている。タイトルの『夢を叶えるために脳はある』は、単なる自己啓発的なメッセージではない。その真意は、本書の次の文章に集約されている。

「私たちが自分の生き方に対して問うべきは「人生にどんな意味があるか」ではなく、「どんな意味のある人生にしたいか」です。意味を訊くのではなく、意味を創り出す。外部に答えを求めるのではなくて、自分の内側に答えをこしらえる。このプロセスにこそ、ヒトが生きていく意味があります。現実と虚構を往来することは、この問いを究める切符を手にするようなものです」

●推薦者名 馬場 良泰

●所属 研究支援・産官学連携センター

ZERO to ONE 君はゼロから何を生み出せるか

著者名 ピーター・ティール ブレイク・マスターズ 翻訳：関美和

出版社 NHK出版 価格 1,600円＋税 分類：経済



採用面接で「賛成する人がほとんどいない、大切な真実とはなに？」と訊かれたら、あなたはどうか答えるだろうか。オンライン決済システムPayPalの共同創業者であり、著名なベンチャー・キャピタリストでもある著者のピーター・ティールは、実際に面接で投げかけているという。

本書『ZERO to ONE』は、テクノ・リバタリアン(技術・自由至上主義者)の中心的人物としても知られるティールが、自らの経験を踏まえスタンフォード大学で行った起業家精神に関する講義をもとにまとめられた一冊である。巷に出回っているスタートアップ本とは一線を画し、安易な成功法則を提示するのではなく、「起業を教えること自体に矛盾がある」という挑発的な問題提起から始まる。イノベーションを起こすマニュアルなど存在しない—それが本書の出発点となっている。

ティールは、「競争に勝つのではなく、独占を目指せ」「模倣や改良ではなく、ゼロから1を生み出す“垂直的進歩”がなければ起業する意味はない」と繰り返し主張する。さらに、「ティールの法則」と呼ばれる独自の視点から、独占的優位を築くための処方箋も示している。たとえば、二番手より少なくとも10倍優れていること、ライバルのいない市場を見つけること、異なる先行者ではなく“最後に勝つ者(ラストムーバー=ラスボス)”になることなど。

冒頭の問いをビジネスに置き換えると、「まだ誰も築いていない、価値ある企業とは何か？」となるだろう。ティールは講義の中で、この「隠れた真実」を探し出し、社会を変えていくことを求めている。「これまでとは違うより良い未来を創ること、つまりゼロから1を生み出すこと」の第1歩は自分のアタマで考えること。これが学生へのメッセージである。

『テクノ・リバタリアン』(橋玲・著、文春新書)も併せて読むと理解が深まる。

●推薦者名 馬場 良泰

●所属 研究支援・産官学連携センター

PLURALITY 対立を創造に変える、協働テクノロジーと民主主義の未来

著者名 オードリー・タン E・グレン・ワイル 山形浩生(翻訳)

出版社 サイボウズ式ブックス 価格 3,000円＋税 分類：総記



タイトルの「Plurality (プララリティ)」は「多元性」を意味し、「Singularity (単一性／特異点)」と対比される概念である。本書ではこの言葉をさらに拡張し、「社会的な違いを超えて協働するための技術と制度」という意味で用いている。

インターネットやAIの発展によって、世界中に情報が行き渡り、少数意見もすくい上げられる、より平等な社会が実現すると多くの人が期待してきた。しかし現実には、社会の分断はむしろ深まっている。ペイパルファイアと呼ばれるピーター・ティールやイーロン・マスクらに代表される一部のIT起業家は、テクノクラシー(技術による支配)を志向し、政治・経済に強大な影響力を持つようになった。また、IT/AI技術を用いて情報を管理・統制し、中央集権的な支配を強めようとする国家の動きも加速している。

こうした「反社会」や「権力集中」とは異なる第三の道として提示されるのが、本書の中心テーマである「Pluralityプロジェクト」である。台湾政府の初代デジタル担当大臣として知られるオードリー・タンは、「デジタル民主主義」を掲げ、シビックハッカーとともに、市民と政府をつなぐオープンソースコミュニティ「g0v(ガブゼロ)」を立ち上げた。そこでは、「不満を言う代わりに、コードを書こう」という台言葉のもと、IT技術を使って情報の透明化と市民参加を促進している。

本書でオードリー・タンは、「産業技術が燃料を利用してその爆発を封じ込めるエンジンを作ったのと同様に、多様性の暴発を活用するエンジンの構築を目指すべき」と主張する。とりわけ第5章「共創テクノロジーと民主主義」で示される、協働の「深さ」と多様性の「広さ」を可視化した図は、Pluralityが目指す社会像を直感的に理解する助けとなる。

なお、「Pluralityプロジェクト」の活動は公式サイトで無料公開されており、誰でも参加できる。「なぜ誰もやらないのか?」と思う課題があるなら、あなた自身がその「誰か」になろう——それがこのプロジェクトの精神である。レイ・カーツワイルが2045年に到来すると予言した「シンギュラリティ(AIが人間の知能を超え、文明が不可逆的に変化する転換点)」に向かう時代だからこそ、Pluralityプロジェクトは重要である。テクノロジーを正しく使い、フェイクやSNSに惑わされないリテラシーを身につけ、対立を協働へと変える担い手となること——本書は、そのための指針となる。

●推薦者名 吉田 雅信

●所属 研究支援・産官学連携センター

すぐ役に立つものは すぐ役に立たなくなる

著者名 荒俣宏

出版社 プレジデント社 価格 1,800円＋税 分類：社会



2022年11月30日、ChatGPTの登場は社会に大きな衝撃を与えました。質問すれば何でも答えてくれ、プログラミングも文章作成も難しくこなす。これは便利だ、もう勉強しなくてもいいのではないかと——そんな錯覚すら覚えさせる、まさに魔法のような道具です。

しかし、はたしてそれで本当に良いのでしょうか。

すぐに役立つことばかりを追い求める風潮の中で、本書は「本当に大切なものは何か」を静かに問い直してくれます。遠回りに見えることでも、自分の「好き」という感覚に正直に向き合い、続けていくことが、結果として人生を豊かにし、他人には真似できない価値を生む——そのことを教えてくれる一冊です。

著者の荒俣宏さんは、人生の選択に迷ったときの原理原則として「ダメそうな方を選ぶ」と語っています。一見うまくいかなさそうな道こそ、もし当たればとてつもない可能性を秘めている。だからこそ、無駄を恐れず、むしろ楽しめとも言うのです。

大学生活は、効率だけを求める時間ではなく、自分自身を深く耕す貴重な期間です。すぐに答えを欲しがらる時代だからこそ、本書は長い人生を支える「思考の背骨」を与えてくれるでしょう。ぜひ手に取ってほしい一冊です。

●推薦者名 吉田 雅信

●所属 研究支援・産官学連携センター

世界秩序が変わるとき 新自由主義からのゲームチェンジ

著者名 齋藤ジン

出版社 文春新書 価格 1,050 円＋税 分類：経済



戦争や紛争、自然災害、AI、半導体、エネルギー、地球温暖化——私たちは日々、多種多様なニュースに囲まれて生活しています。インターネットやスマートフォンの普及により、こうした情報に瞬時に触れられる時代ですが、世界で起きている出来事の背後に、それぞれ明確な原因や構造があることを意識しているのでしょうか。

本書は、日本に暮らしていると見えにくい「地政学」という視点から、世界の構造変化を読み解く一冊です。これまで日本は、ある意味で「井の中の蛙」でいられましたが、その時代はすでに終わりつつあります。情報があふれる現代だからこそ、表面的なニュースに流されず、世界の大きな流れを捉える力が必要です。この力は文系・理系を問いません。

SNSなどから大量かつ無秩序に流れ込む情報に日々さらされていると、自分自身で考える力——いわば思考のロジック——を持たなければ、他人の意見に振り回されてしまいます。大学に入ってこれから学びを深めていく皆さんには、専門分野の勉強と同時に、「自分で考える力」をぜひ

身につけてほしいと思います。

それには時間がかかります。だからこそ学生時代に取り組む価値があります。そのための一冊として、本書をぜひ読書リストに加えてみてください。

●推薦者名 吉田 雅信

●所属 研究支援・産官学連携センター

NEXUS 情報の人類史 (上：人間のネットワーク、下：AI革命)

著者名 ユヴァル・ノア・ハラリ

出版社 河出書房新社 価格 各 2,000 円＋税 分類：総記



近年、「DX (Digital Transformation)」という言葉をよく目にしませんか。紙とハンコをパソコンやスマートフォンに置き換え、ペーパーレス化を進める取り組みだと捉えている人も多いかもしれません。

しかしDXの本質は、単なる「ツール (道具) の導入」ではなく、「関係の再設計」にあります。技術 (テクノロジー) は目的そのものではなく、人と人、組織と社会をつなぐ媒介として捉える必要があります。実は私自身も、ITやDX、デジタル技術を短絡的に理解し、失敗を重ねてきました。本書を読んで、そうした失敗の本質によりやく気づかされたのです。大学で学ぶ技術も、同じことが言えるでしょう。

本書は、人類の歴史を「情報」という切り口から読み解いた、非常に刺激的な一冊です。人間はどのように情報を扱い、社会や文明を築いてきたのか。そしてそれが、現在のAI時代へどのようにつながっているのかを、壮大なスケールで描いています。

15世紀半ばに登場したグーテンベルクの活版印刷は、社会を一変させました。それまで一部の権力者に限られていた知識 (情報) が、市民へと広く行き渡るきっかけとなり、いわば「情報革命」が起きたのです。情報を軸に世界を眺めてみると、これ

までとはまったく違った景色が見えてきます。

若いうちにこうした視点に触れることは、単なる知識の習得以上の価値があります。私の学生時代には、このような本はほとんどありませんでした。だからこそ、今の学生が本書を読めることを心から羨ましく思います。ぜひ早い段階で手に取ってほしい名著です。

●推薦者名 臣永 歩

●所属 蔵本技術部門機能解析グループ

なぜ投資のプロはサルに負けるのか？

著者名 藤沢数希

出版社 ダイアモンド社

価格 1,600円＋税

分類：経済



だいぶ古い本のうえ、新入生のみなさんにお金の本を薦めるのはどうかとも思ったのですが、時代が進むにつれて実は投資と関係ない部分で事の本質が書かれているといつも読み返して思います。

特に今でもなるほどなどと思うのが、「株式必勝法」という本が出版されつづけるのはなぜか？という点です。必ず儲かるのであればなぜその情報を自分だけで秘匿して儲けようとししないのかという疑問です。

答えは本書に書いてあります。

みなさんの身近な話ですと大学で使うパソコンの購入を検討されている方も多いと思います。その時インターネットで調べると、「パソコンおすすめ2022」といったような比較サイトを見ることが多いでしょう。

これからの時代、紙やインターネットの情報に触れる際に「この人(会社)はこの情報をどうして公開しているのか」の視点が重要だと考えます。

ファイナンシャルの基礎を学ぶにも良い本と思いますのでぜひ読んでもらいたい1冊です。

●推薦者名 臣永 歩

●所属 蔵本技術部門機能解析グループ

完訳 7つの習慣 人格主義の回復

著者名 スティーブン・R・コヴィー

出版社 キングベア出版

価格 2,300円＋税

分類：倫理学・道徳



私がアメリカの会社で働いていた時に、上司から薦められた1冊です。1989年に発行された本になります。

今でも年に1回以上は読むようにしています。

特に「1. 主体的である」という部分については人生を生きやすくする事のヒントになるかなと思います。

色々書かれている事は多いのですが、私が常に意識しているのは下記3点です。

- 1 「自分のお葬式をイメージして参列者にどう思っしてほしいか」を考えて生きてみる
- 2 起きた事象に対して自分でコントロールできることに注力する
- 3 時間管理の方法

重要で急ぎのタスク、重要だけど急ぎでないタスク、重要ではないが急ぎのタスク、重要でも急ぎでもないタスクの4分割にして考える

もっとたくさん良いことが書いてあるのですが、書ききれないのでぜひ一度読んで頂ければと思います。漫画版もあるので、漫画から日本語版。日本語版から原書と読み進めもお勧めします。

●推薦者名 臣永 歩

●所属 蔵本技術部門機能解析グループ

ジャッカルの日

著者名 フレデリック・フォーサイス

出版社 KADOKAWA (角川文庫) 価格 840 円+税 分類：英米文学



気が付いたら読んでいて朝になっていたという体験をしたい方にぜひお勧めです。

フランス大統領のシャルル・ドゴール暗殺を描いたミステリー小説になります。もちろんドゴール大統領は天寿を全うされていますので暗殺はされていません。物語の前半は実話に基づいています。

登場人物も多いですし、第二次世界大戦後のフランスの分裂の背景や聞きなれない組織名や呼称とともに語られます。ヨーロッパの地理も理解していないと物語が今どこまで進んでいるかわかりません。

物語は飛びに飛びます。しかし最後の最後で全部繋がっていて無駄なお話一つもありません。

小説を描く際にどこまでリアリティを描く必要があるのか。ここまで描く必要があるのか。その辺りも考えさせられる作品です。

1995年にイスラエルのラビン首相とPLOアラファト議長の間で歴史的和平会談が始まりました。残念ながらラビン首相は暗殺されてしまいます。この時の暗殺の実行犯の自宅からも本書が見つかっています。

至高のフィクション小説をぜひ楽しんで頂きたいです。

●推薦者名 後藤 龍太

●所属 健康支援センター 総合相談部門

生き心地の良い町ーこの自殺率の低さには理由がある

著者名 岡 檀

出版社 講談社 価格 1,400 円+税 分類：社会



徳島大学への赴任が決まり、知人に徳島県に行くことを伝えた時に言われた一言が、「徳島県は自殺が少ない地域ですね」でした。それを聞いて、調べてみたところ、この一冊に出会いました。

徳島県の南側にある海部町（現在は近隣と合併し海陽町となっている）は、自殺率が極めて低いコミュニティ。著者は、実際に海部町に足を運んで現地の住民などに聞き取り調査をしながら、自殺の予防因子を分析しました。その内容は、「なるほどな」と思うものや、「やっぱりそうだよな」と思うものばかりで、苦しい気持ちになったり、投げ出したくなったりした時にこの本を読んでもみるといいかもしれません。人と人がそれぞれ無理なく苦しめない距離感でつながるエッセ

ンスを教えてください。普段当たり前すぎて意識しないような何気ないけれど大切なことを思い出す大切さをこの一冊から学びました。

●推薦者名 武知 智子

●所属 薬学部 機能分子合成薬学

匂いの記憶 知られざる欲望の起爆装置 ヤコブソン器官

著者名 ライアル・ワトソン

出版社 光文社 価格 1,900円＋税 分類：医学・薬学



あまり知られていないが、女性は大きく2種類に分けられる。痴漢にあう人とあわない人だ。あう人といえばしょっちゅうあうし、あわない人は全くあわない。

身近な例をあげるなら、2歳違いの妹は前者で私は後者だ。姉妹ゆえ育った環境はほぼ同じ、全体的な外見も似ている。それにもかかわらず、キツパリはつきり異なる。何がどう違うのか？どのあたりに決定的な差があるのか？これは人生における3大疑問のひとつだった。

だが、ある日何気なくこの本を読んでいて、ハタと気が付いた。まさかとは思いますが、これが長年探し求めていた答えではないだろうか。

●推薦者名 武知 智子

●所属 薬学部 機能分子合成薬学

エンデの遺言ー根源からお金を問うことー

著者名 河邑厚徳＋グループ現代

出版社 日本放送出版協会 価格 1,500円＋税 分類：経済



ファンタジー作家とは別の顔を持つミヒャエル・エンデの言葉。

今まで深く考えたことはなかったが、お金とはいったい何なのか。靴を買った場合、靴は時間とともに劣化するが、対価として渡したお金はいつまでたっても劣化しない。当たり前のことだと疑いもしなかったが、これはこれで本当にOKと言っているのか？

「お金をいかに循環させるか」という社会的命題に対し、シルビオ・ゲゼルは100年前に「劣化する貨幣」という概念で答えた。驚くべきことに、過去にはこれを実際に取り入れたヨーロッパの自治体があった。そしてさらに、その結果が極めて興味深い。

●推薦者名 石川 実可子

●所属 研究支援・産官学連携センター

話すチカラ

著者名 齋藤孝、安住紳一郎

出版社 ダイアモンド社 価格 1,400円＋税 分類：言語



皆さんは人前で話すことは得意ですか。私は得意ではありません。嫌です。この本には日本最高峰の話術の裏側が書かれています。私も少し得意になった！はず……。

私は安住紳一郎さんの大ファンです。北海道出身、明治大学卒業、某テレビ局のアナウンサー。相手が話したくなるような聞く力がある人。老若男女を惹きつける面白い話をする人。毒舌ですが、きっちり公平性を保っている人。そんな安住紳一郎さん（教え子）と齋藤孝さん（先生）との対談本です。日本最高峰の話術を軸にコミュニケーション力、ライブハック術、メンタルケア等を学べます。入学後の雑談、パイトの面接、研究のプレゼンに役立つかもしれません。ラジオ「安住紳一郎の日曜天国」を聴いてから読む、読んでから聴く。本とラジオ、合わせて是非！

●推薦者名 松尾 淳

●所属 研究・産学企画課

科学の健全な発展のために【第2版】 —誠実な科学者の心得—

著者名 日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会

出版社 丸善出版 価格 1,200円＋税 分類：自然科学



新たに、徳島大学で専門知識や技術を学び始め、自らの創造性を鍛え、社会とのかかわりを考察し、活き方を探求する時間・場所・機会・友人を大学生生活のなかで見つけることを期待しています。学部では教育の現場から教員の研究活動の一面を垣間見、大学院では研究活動に携わり、科学研究のコミュニティの一員として真理の探究あるいは社会実装に向けて自ら課題を設定し、時間を差配し、しかし、新たな発見までの道程の遠さに悩む場面に遭遇するでしょう。

科学研究の成果が人類の知的資産と高く評価される一方で、STAP細胞事件や架空の神学者事件等の不正行為が絶えません。この本は、科学研究に携わる研究者に—誠実な科学者の心得—として求められる4つの原則（誠実性、説明責任、公正性、適切な管理）や科学研究コミュニティの持つルールや社会との対話・連携のあり方、科学研究が守る規範について平易に述べられています。誠実な科学者の心得は、自身の素養として身に備えたとき、研究プロセスの完全性を損なう行為の愚かさを知ることができると思います。研究、技術開発な

などの仕事に携わるか否かにかかわらず、自らの姿勢を省みる際に読み返せる一冊としてお薦めします。

この本は、日本学術振興会（通称JSPS）のホームページ（<https://www.jsp.go.jp/j-kousei/>）【掲載最終確認日】2025年12月9日）に掲載されています。

●推薦者名 松尾 淳

●所属 研究・産学企画課

少女たちの戦争

著者名 中央公論新社
出版社 中央公論新社

価格 1,300円＋税 分類：日本文学



この本が刊行された令和3（2021）年以降、世界各地で起きる紛争等による分断と衝突は、市民の平和な日常を非日常に変え、次々と起こる出来事は非日常を日常に変えてゆき、鮮烈な出来事も疎く・うすらいでいきます。

中央公論社編集部は、太平洋戦争開戦80年企画として刊行した時の思いを「非常時が日常となった日々のなかで、幼少期・青春を送った彼女たちは何を思い、どのように過ごしたのか。ここに収めた文章は必ずしも戦争をテーマにしたものばかりではありません。むしろ、従来の戦争の記録からは零れ落ちてしまいそうな、戦時下の何気ない日常が垣間見えるものを選んでいきます。少女たちには、少女たちの戦争があり、日常がありました。（男たちの戦争）から最も遠い、弱く小さき声に耳を傾けていただきたいと思います。」と語っています。

この本は、昭和16（1941）年12月8日の開戦時に、満20歳未満だった女性によるエッセイを収録しています。徳島出身の瀬戸内寂聴（1922～2021）をはじめ、橋田壽賀子、田辺聖子、黒柳徹子など昭和から現在に至るまで活躍した作家・小説家です。

彼女たちが体験した戦争下という非日常の日常の記憶を書き手として綴ったものです。戦争の惨禍を体験者から聴くことが難しくなった今、記憶が留められた空間から小説・詩などの作品に関心を広げる機会にしてほしいと思います。

●推薦者名 松尾 淳

●所属 研究・産学企画課

タテ社会と現代日本

著者名 中根千枝 構成：現代新書編集部
出版社 講談社 価格 840円＋税 分類：社会



徳島の地に、中国東北部や台湾などの東アジアを中心に人類学、考古学、民族学的な調査を行った先駆者・鳥居龍蔵（1870～1953）の業績を顕彰した博物館や記念碑があります。鳥居先生が行った人類学、民族学的な調査は、広く人類の文化を研究する民族学、文化人類学、社会人類学など多様な方向に発展しています。

この社会人類学の一冊として「タテ社会と現代日本」を紹介します。著者の中根千枝（1926～2021）は、1952年に東京大学助手に採用され、1980年には東京大学東洋文化研究所長を務め、また文部省（現文部科学省）が担う学術の振興に関する行政に科学官として携わっています。1995年7月、日本における学問としての文化人類学の確立に貢献した功績により女性で初めて日本学士院会員に選出されています。

「タテ社会と現代日本」は、1967年2月に刊行した「タテ社会の人間関係（講談社現代新書）」が長く読まれ続けていることをきっかけに、これまでに展開された学問的な知見をわかりやすく解説し、現代日本を読み解いてみた一冊です。

この本では、日本社会の構造を“資格”と“場”というキーワードを用いて、個人と個人、集団と集団の関係、さらには、天下りやハラスメント等に潜む社会慣習を解き明かしています。

日常の社会生活での、他者との関係性、合意形成や行動に対する気づきを与えてくれるはずです。

●推薦者名 佐々木 奈三江 ●所属 情報企画課

ファンタジア

著者名 ブルーノ・ムナーリ (訳: 萱野有美)
出版社 みすず書房 価格 2,400円+税 分類: 工芸



「ファンタジア」とは創造力の源泉のこと。そんなものをどうやって本の中で表現するのだろうか?と思いつつ読んでみると・・・図版が多くて読みやすく、でもその図版の前でじっと考え込むような、理論と実践が1冊の本の中で展開されている知的刺激にあふれる本でした。独創性という、自由きまま、と考えられがちだと思いますが、技術や道具への正しい知識があってこそ、という指摘は重要です。また、ファンタジアの発達にはより多くの情報が必要で、でも情報を記憶しているだけでファンタジアを活用しないなら情報は使えない道具である、という指摘もいちいちそのとおり。図書館で

仕事をしているからには、このファンタジアの活用というあたりに踏み込んで貢献したいものです。という訳で、まずはこの本をおすすめします。

●推薦者名 佐々木 奈三江 ●所属 情報企画課

ふむふむ：おしえて、お仕事!

著者名 三浦しをん
出版社 新潮社 価格 1,300円+税 分類: 社会



大学に入ったばかりの皆さん、次は就活、とドキドキしていませんか?就活という一番に面接の受け方やエントリーシートの書き方が気になるかも知れません。でもその前に「働くってなんだろう」ということから考えてみるというのはいかがでしょうか?

そのヒントとしておすすめしたいのがこの本、「ふむふむ：おしえて、お仕事!」です。小説家三浦しをんさんと女性の職人さんとの対談集で、染色家、ビール職人、活版印刷職人、工事現場監督などなど、色んな職人、職業の方が出てきます。どちらかというと、好きなことを職業にした幸運な方が多く紹介されていますが、当然平坦な道ばかりではありません。でもどの方も、自分の仕事が届く先の「人」のことを考え、真摯にそして何より楽しそうに働いています。どんな職業に付くにしても、仕事への心構えは必要だし、こういった本を読むことで「世の中にはこんな仕事があるんだ!」と少しだけ視野を広げられれば、自分の中に余裕が生まれるのではないのでしょうか。楽しく読んでもらいたい1冊です。

●推薦者名 近藤 薫

●所属 図書情報課

われ去りしとも美は朽ちず

著者名 玉岡かおる

出版社 潮出版社 価格 1,800円＋税 分類：日本文学



徳島には、新入生の皆さんにぜひ訪れていただきたい場所がいくつもあります。なかでも、鳴門の渦潮と大塚国際美術館は、何度訪れても新たな発見がある魅力的なスポットです。大塚国際美術館では、世界の名画約1,000点が陶板で精巧に再現され、原寸大の迫力を体感できます。

フィクションの作中では「鴻塚国際博物館」として描かれるこの美術館の誕生には、名画を劣化しない陶板で未来へ残すという壮大な事業に挑んだ人々の情熱が込められています。巨大作品の原寸大陶板制作や色彩再現技術、海外の著作権許諾の取得、国立公園内での建設に伴う地下空間の活用など、多くの工夫と努力が積み重ねられました。物語を読んだあとは、ぜひ鳴門を訪れ、システーナ礼拝堂の『最後の審判』や『モナ・リザ』『ゲルニカ』など世界の名画を間近に感じてみてください。

＜分野別索引＞

■総記

社会は情報化の夢を見る	渡邊 克典	総合科学部	社会総合科学科 …… P 8
人文知 1 心と言葉の迷宮	大村 和人	教養教育院	…………… P 31
PLURALITY 対立を創造に変える、協働テクノロジーと民主主義の未来	馬場 良泰	研究支援・産官学連携センター	… P 36
NEXUS 情報の人類史（上：人間のネットワーク、下：AI革命）	吉田 雅信	研究支援・産官学連携センター	… P 37

■図書館・図書館学

それでも、読書をやめない理由	依岡 隆児	総合科学部	社会総合科学科 …… P 6
読書からはじまる	依岡 隆児	総合科学部	社会総合科学科 …… P 7

■西洋哲学

大衆の反逆	上番増 喬	医学部	医科栄養学科 …… P 11
-------	-------	-----	----------------

■心理学

アイデアのつくり方	二川 健	医学部	医科栄養学科 …… P 13
自分のアタマで考えよう	真壁 和裕	理工学部	理工学科 …… P 23

■倫理学・道徳

会社人生で必要な知恵はすべてマグロ船で学んだ	竹内 政樹	薬学部	分析科学 …… P 17
自分のための人生 — 今日を賢明に生きてますか	石田 徹	理工学部	理工学科 …… P 19
仕事は楽しいかね？	田村 隆雄	理工学部	理工学科 …… P 21
君たちに伝えたい3つのこと	真壁 和裕	理工学部	理工学科 …… P 22
完訳 7つの習慣 人格主義の回復	臣永 歩	蔵本技術部門機能解析グループ	… P 38

■日本史

草の根のファシズム：日本民衆の戦争体験	荒武 達朗	総合科学部	社会総合科学科 …… P 2
---------------------	-------	-------	----------------

■アジア史・東洋史

雍正帝：中国の独裁君主	荒武 達朗	総合科学部	社会総合科学科 …… P 3
-------------	-------	-------	----------------

■伝記

津田梅子 — 科学への道、大学の夢	福井 清	学長特別補佐	…………… P 1
津田梅子 — 女子教育を拓く	福井 清	学長特別補佐	…………… P 1
生きること学ぶこと	二川 健	医学部	医科栄養学科 …… P 14
平賀源内に学ぶイノベーターになる方法	日下 一也	理工学部	理工学科 …… P 20
代表的日本人	田中 保	生物資源産業学部	生物資源産業学科 …… P 27

<分野別索引>

■経済

- プレゼンテーションZen第3版 日下 一也 理工学部 理工学科 …… P 20
LEAN IN (リーン・イン) 女性、仕事、リーダーへの意欲
武川 恵美 研究支援・産官学連携センター … P 34
ZERO to ONE 君はゼロから何を生み出せるか
馬場 良泰 研究支援・産官学連携センター … P 35
世界秩序が変わるとき 新自由主義からのゲームチェンジ
吉田 雅信 研究支援・産官学連携センター … P 37
なぜ投資のプロはサルに負けるのか? 臣永 歩 蔵本技術部門機能解析グループ … P 38
エンデの遺言ー根源からお金を問うことー
武知 智子 薬学部 機能分子合成薬学 … P 40

■社会

- 日常生活における自己呈示 渡邊 克典 総合科学部 社会総合科学科 …… P 9
人を助けるとはどういうことか 本当の「協力関係」をつくる7つの原則
岡久 玲子 医学部 保健学科 …… P 15
ルフィの仲間力ー「ONE PIECE」流、周りの人を味方に変える法
白山 靖彦 歯学部 口腔保健学科 …… P 16
反社会学講座 三輪 昌史 理工学部 理工学科 …… P 24
子どもは判ってくれない 渡邊 健 理工学部 理工学科 …… P 25
The Culture Map: Decoding How People Think, Lead, and Get Things Done Across Cultures
チャン ホアンナム 高等教育研究センター …… P 33
すぐ役に立つものは すぐ役に立たなくなる
吉田 雅信 研究支援・産官学連携センター …… P 36
生き心地の良い町ーこの自殺率の低さには理由がある
後藤 龍太 健康支援センター 総合相談部門 …… P 39
タテ社会と現代日本 松尾 淳 研究・産学企画課 …… P 42
ふむふむ: おしえて、お仕事! 佐々木奈三江 情報企画課 …… P 43

■教育

- Reading Magic: Why Reading Aloud to Our Children Will Change Their Lives Forever
カイザー メイガン 総合科学部 社会総合科学科 …… P 3
独学の教室 土屋浩一郎 薬学部 医薬品機能生化学 …… P 17

■風俗習慣・民俗学・民族学

- 菊と刀 内山 八郎 教養教育院 …… P 30

■自然科学

- 科学するブッタ 犀の角たち 富田 卓朗 理工学部 理工学科 …… P 21
理科系の作文技術 玉井 伸岳 生物資源産業学部 生物資源産業学科 …… P 28
99.9%は仮説 齊藤 隆仁 教養教育院 …… P 33

<分野別索引>

科学の健全な発展のために【第2版】 —誠実な科学者の心得—

松尾 淳 研究・産学企画課 …………… P 41

■物理学

人物で語る物理入門 〈上・下〉 大藪 進喜 教養教育院 …………… P 32

■化学

有機化学の理論 ～学生の質問に答えるノート

中尾 允泰 薬学部 分子創薬化学 …………… P 18

■天文学・宇宙科学

COSMOS 〈上・下〉 堤 和博 総合科学部 社会総合科学科 …… P 5

宇宙の「果て」になにがあるのか 最新天文学が描く、時間と空間の終わり

大藪 進喜 教養教育院 …………… P 32

Brief Answers To The Big Questions

チャン ホアンナム 高等教育研究センター …………… P 34

■地球科学・地学

大陸と海洋の起源 青矢 睦月 理工学部 理工学科 …………… P 18

■生物科学・一般生物学

生物と無生物のあいだ 竹谷 豊 医学部 医科栄養学科 …… P 13

Y染色体からみた日本人 佐藤 陽一 薬学部 医薬品情報学 …… P 16

■医学・薬学

「健康格差社会」を生き抜く 佐藤 充宏 総合科学部 社会総合科学科 …… P 5

人生最後のご馳走 上番増 喬 医学部 医科栄養学科 …… P 11

やせる！低GIダイエット 奥村 仙示 医学部 医科栄養学科 …… P 12

代替医療のトリック 三輪 昌史 理工学部 理工学科 …… P 24

夢を叶えるために脳はある 「私という現象」、高校生と脳を語り尽くす

馬場 良泰 研究支援・産官学連携センター … P 35

匂いの記憶 知られざる欲望の起爆装置 ヤコブソン器官

武知 智子 薬学部 機能分子合成薬学 … P 40

■技術・工学

The New Science of Strong Materials: Or Why You Don't Fall Through the Floor

ナカガイト アントニオ ノリオ 理工学部 理工学科 …………… P 22

■建設工学・土木工学

コミュニティデザイン 人がつながるしくみをつくる

渡辺公次郎 理工学部 理工学科 …………… P 25

見えがくれする都市 渡辺公次郎 理工学部 理工学科 …………… P 26

■機械工学・原子力工学

フェニックス（不死鳥）王昌の「モノづくり」

岡久 稔也 医学部 医学科 …………… P 10

＜分野別索引＞

■家政学・生活科学

透析を止めた日	和泉 唯信	医学部	医学科 …………… P 9
料理の四面体	真壁 和裕	理工学部	理工学科 …………… P 23

■産業

地域を変えるデザイン コミュニティが元気になる30のアイデア	渡辺公次郎	理工学部	理工学科 …………… P 26
--------------------------------	-------	------	-----------------

■工芸

ファンタジア	佐々木奈三江	情報企画課	…………… P 43
--------	--------	-------	------------

■言語

話すチカラ	石川実可子	研究支援・産官学連携センター	…………… P 41
-------	-------	----------------	------------

■日本文学

ノルウェイの森 〈上・下〉	佐藤 健二	総合科学部	社会総合科学科 …… P 4
寺田寅彦随筆集 全5巻	依岡 隆児	総合科学部	社会総合科学科 …… P 7
ハーモニー	渡邊 克典	総合科学部	社会総合科学科 …… P 8
しつけ帖	上番増 喬	医学部	医科栄養学科 …… P 10
数学者の言葉では	酒井 徹	医学部	医科栄養学科 …… P 12
沈まぬ太陽 (アフリカ編上・下、御巣鷹山編、会長室編上・下)	二川 健	医学部	医科栄養学科 …… P 14
噛みきれない想い	奥田紀久子	医学部	保健学科 …………… P 15
深夜特急1 - 香港・マカオ-	加藤 雅裕	理工学部	理工学科 …………… P 19
柿の種	玉井 伸岳	生物資源産業学部	生物資源産業学科 …… P 27
秘帖・源氏物語 翁-OKINA	玉井 伸岳	生物資源産業学部	生物資源産業学科 …… P 28
少年H 〈上・下〉	松木 均	生物資源産業学部	生物資源産業学科 …… P 29
のぼうの城 〈上・下〉	松木 均	生物資源産業学部	生物資源産業学科 …… P 29
少女たちの戦争	松尾 淳	研究・産学企画課	…………… P 42
われ去りしとも美は朽ちず	近藤 薫	図書情報課	…………… P 44

■中国文学

魯迅 - 「人」「鬼」の葛藤	大村 和人	教養教育院	…………… P 30
とびらをあける中国文学-日本文化の展望台	大村 和人	教養教育院	…………… P 31

■英米文学

Where the Sidewalk Ends	カイザー メイガン	総合科学部	社会総合科学科 …… P 4
2001年宇宙の旅 決定版	山内 暁彦	総合科学部	社会総合科学科 …… P 6
ジャッカルの日	臣永 歩	蔵本技術部門機能解析グループ	…………… P 39

■ロシア・ソヴィエト文学

戦争は女の顔をしていない	荒武 達朗	総合科学部	社会総合科学科 …… P 2
--------------	-------	-------	----------------



徳島大学附属図書館によるこそ

図書館は本がたくさんあって、みんなが静かに勉強をしているところ・・・そんなイメージはありませんか。徳島大学附属図書館は少し違います。みなさんの学習、研究のために役立つ施設・サービスがたくさんありますので、その中からいくつかご紹介しましょう。

✿ ラーニング・コモンズ&グループ・個人向け個室

大学では、グループで作業したり、発表したりする機会が増えてきます。その準備をするためには、テキストを見ながら、パソコンを使いながら、ディスカッションができる場所があると便利ですね。そのような場所として、本館には1階に「新日本電工ラーニングコモンズ」と「グループ研究室」を、蔵本分館には1階に「ラーニング・コモンズ」、2階に「グループ学習室」と「ミーティングルーム」をご用意しています。これらの部屋には大型ディスプレイやホワイトボードがあり、グループでの学習や打合せによく利用されています。

また、一人で静かに勉強したい人には、サイレントゾーンや個人机の利用をオススメします。本館2・3階には個人向けの「研究個室」もあります。

✿ SSS (Study Support Space)

大学は高校までの勉強と全然違う・・・。そんな不安や悩みを抱えた学生さんを助けるのが、SSSです。レポートの書き方や勉強の仕方、専門分野の内容まで、アドバイザーの先生や大学院生の先輩が相談にのってくれます。図書館本館1階でお待ちしております。

✿ 講習会

大学で研究するためには、世界中にあふれる研究情報をうまくキャッチする必要があります。インターネットがあるじゃない？と思うかもしれませんが、ネットだけでは入手できない情報もあるのです。図書館の「データベース」を使うと、たくさんの学術情報を効率よく手に入れることができます。図書館では、「データベース」の使い方や、図書館の本・雑誌の探し方などを説明する「講習会」を開催していますので、ぜひ参加してください。

✿ レファレンス

調べたいことがあるんだけど、調べ方がわからない・・・。そんな時は図書館のカウンターに何でも聞いてください。便利なサイト、参考になる本、調査方法などをお調べします。

✿ ホームページ・SNS

図書館ではホームページやSNSを開設しています。本の入荷情報、イベント情報などお得な情報がいっぱいです。ぜひ確認してくださいね！

ホームページ



🌸 OPAC (Online Public Access Catalog : 徳島大学蔵書目録)

春の大学図書館では、新入生のみなさんがあまりの本の多さに驚いている光景をよく見かけます。この中から目的の本や雑誌を探すためにあるのがOPACです。図書館ホームページから簡単に検索でき、貸出中の本の予約もできます。図書館内にもOPAC専用パソコンを設置していますので、まずはアクセスしてみましょう。

🌸 マイライブラリ

cアカウント認証で利用できるOPAC上の個人ページです。借りている図書の貸出期間延長や他の人が借りている図書の予約、図書館に置いてほしい図書の購入希望（学生のみ）、他大学からの論文コピーや本の取り寄せの申込みができます。OPACで検索した結果をマイフォルダに登録・管理することもできます。マイライブラリには、以下のURLからアクセスできます。

<https://opac.lib.tokushima-u.ac.jp/opac/user/top>

そこは『購入希望』
出しとかないと



そこは『予約』しとかないと





新しい本の世界へ

図書館では、みなさんと本をつなぐため、様々なサービスや活動を行っています。その中から主なものを紹介します。

🍀ブックログ「徳島大学附属図書館ユーザーのオススメ本棚」

「ブックログ」とはウェブ上に本棚を作り、本の感想を記録したり、他の本棚に感想を書いたりすることができるサービスです。この「ブックログ」を使って徳島大学の学生や先生、職員のオススメ本を一堂に集めたウェブ上の本棚をつくりました。それが「徳島大学附属図書館ユーザーのオススメ本棚」です。

新しい本との「出会いの場」「交流の場」として、ぜひ使ってみてください。

<https://booklog.jp/users/tokushimalib2014>



🍀ブックハンティング

「学生が書店で、図書館に置く本を自分たちの手で選ぶ」それがブックハンティングです。普段とは違った視点から本を見ることができると、参加した学生さんに大好評のイベントです。年に数回開催していますので参加してみてください。



♣ ビブリオバトル

「ビブリオバトル」とは、「お気に入りの本を5分間でプレゼンテーションし、より多くの聴衆にその本を読んでみたい！と思わせたら勝ち」という本の紹介コミュニケーションゲームです。徳島でビブリオバトルの普及を支えているのが、徳島大学のサポート系サークル「阿波ビブリオバトルサポーター」です。先生方や職員と連携して図書館を中心に活動しています。

阿波ビブリオバトルサポーターは、ビブリオバトルの全国大会「全国大学ビブリオバトル」を目指す地区大会や、テーマを設定したビブリオバトルの開催など、様々な活動を行っています。

あなたも、本の発表者としてビブリオバトルに参加してみませんか。



♣ 授業サポートナビ

「授業サポートナビ」とは、先生方に紹介していただいた各講義のシラバス掲載図書、学習に必要な図書・Webサイトなどをまとめたものです。

本館では、大学での学び始めに役立つ参考図書を分野別にまとめた「授業サポートナビ」も作成しています。リストアップされた図書は、本館では1階ホールの展示コーナーと各閲覧室に、蔵本分館では2階生命科学閲覧室内の「授業サポートナビコーナー」に並んでいます。授業の予習・復習に大いに役立ててください。リストは図書館ホームページでも見ることができますので、ぜひチェックしてみてください。



本館



蔵本分館

蔵本分館テーマ展示



蔵本分館では、1階エントランスホールにて医療系の旬のテーマや1つの分野に収まらない学際的なテーマを取り上げ、先生方に監修していただいた図書とWebサイトを展示しています。

図書館の本棚に並んでいる時には気づかなかった本、本同士の思いがけない繋がりなどを発見できる機会となっており、よく利用されています。監修の先生によるテーマ紹介のコメントも必見です。

My Recommendations

「My Recommendations」とは、先生や学生のおすすめ本を展示しているコーナーです。専門書だけではなく、様々なジャンルの本が紹介されています。すべての本には推薦者のコメントが付けられており、貸出が非常に多い人気のコーナーです。自分が所属している学部の先生がどんな本を推薦しているのか、見てみるだけでも面白いのではないのでしょうか。



本館



蔵本分館

多読コーナー

図書館本館では、1階ホールに「多読コーナー」を設け、英語学習者向けの洋書をシリーズや語数により分けて並べています。簡単に読める洋書をたくさん読むことで、英文を速く読む力が自然に身につきます。TOEIC対策にもなります。

英語が苦手な人は、単語数が少ない本から始めてみましょう。欧米キッズ向けの絵本や児童書もありますので、簡単に楽しく読み、日常会話で使える単語やフレーズを知ることできます。

読書記録手帳を使った多読ラリーも実施していますので、ぜひ参加してください。



大学生になったら

読書マラソンを始めよう!

読書マラソンって何？

『大学4年間で100冊以上の本を読もう!』

という企画のことです。

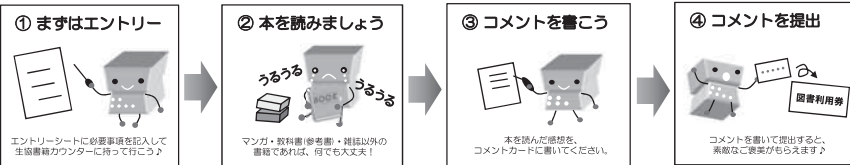
何のために読書するの？

- 読書は自分を作る。自己形成にとって強力なツールとなるから
- 読書は自分の視野を広げ、コミュニケーション力がUPするから
- 読書は楽しい。あらゆる時代、世界の人と対話ができるから

この活動を通して大学生協はみなさんの読書活動を応援しています。

さあ！あなたも読書マラソンに参加しましょう！

読書マラソンの流れ



※エントリーシートは生協店舗でお渡ししています。一緒にコメントカードもお渡ししています

あなたが書いた本の感想は、
お店のコーナーで掲示され、ほかの皆さんが
本を読むきっかけにつながっていきます



お申し込みは、徳島大学生協書籍カウンターへ!

新入生にすすめる私のこの一冊

徳島大学の教職員が推薦

発行日 2026年4月1日（初版1刷）

発行 徳島大学附属図書館
〒770-8507
徳島県徳島市南常三島町2丁目1番地
電話 (088) 656-7584

製作 徳島大学生生活協同組合
〒770-0814
徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地
電話 (088) 652-1073

ISBN 978-4-906835-14-0

2026

新入生にすすめる

私のこの一冊

ISBN978-4-906835-14-0